

地域県土警察常任委員会資料

(令和5年11月30日)

[件 名]

- 投票率低下防止等に向けた政治参画のあり方研究会（第3回）の開催結果について
【市町村課】・・・2ページ
- 令和4年度決算（市町村分）に係る健全化判断比率・資金不足比率（確定値）について
【市町村課】・・・3ページ
- 「伸びのびトーク in 三朝町」の開催結果について
【県民参画協働課】・・・10ページ
- 令和5年度鳥取県パートナー県政推進会議の開催結果について
【県民参画協働課】・・・11ページ
- 令和5年県政モニタリング事業の実施結果について
【県民参画協働課】・・・13ページ
- とっどりの若者による政策提案会について
【県民参画協働課】・・・14ページ
- 令和5年度鳥取県文化功労賞・鳥取県文化奨励賞受賞者の決定について
【文化政策課】・・・15ページ
- （公財）鳥取県文化振興財団の基本財産の取扱いについて
【文化政策課】・・・16ページ
- 第5回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会の開催結果について
【文化政策課】・・・17ページ
- 第21回鳥取県ジュニア美術展覧会の審査結果通知における個人情報漏えいについて
【文化政策課】・・・18ページ
- ジャマイカ選手団のキャンプ実施に係る覚書締結及び同国との交流協議について
【スポーツ課】・・・19ページ
- 特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会における鳥取県選手団の結果について
【スポーツ課】・・・20ページ
- 第2回競技力向上対策本部会議の開催結果について
【スポーツ課】・・・24ページ
- 鳥取県スポーツ顕彰の授与及び激励会について
【スポーツ課】・・・25ページ
- 杭州2022アジアパラ競技大会における本県関係選手の結果について
【スポーツ課】・・・26ページ
- ねんりんピックはばたけ鳥取2024に向けた準備状況について
【ねんりんピック・関西ワールドゲームズ推進課】・・・27ページ
- 県内文化財の新規国登録について
【文化財課】・・・29ページ
- 県内文化財の国史跡指定について
【とっとり弥生の王国推進課】・・・32ページ
- とっとり弥生の王国フェスタ（むきばんだフェスタ・青谷かみじちフェスタ）の開催について
【とっとり弥生の王国推進課】・・・34ページ
- 鳥取市佐治町における台風7号災害からの復興への取組みについて
【東部地域振興事務所】・・・35ページ
- 韓国江原特別自治道「第29回原州国際ツデーウォーク」への参加について
【中部総合事務所県民福祉局】・・・36ページ
- 鳥取県日野郡連携会議の開催結果について
【日野振興センター日野振興局】・・・37ページ

地域社会振興部

投票率低下防止等に向けた政治参画のあり方研究会（第3回）の開催結果について

令和5年11月30日
市 町 村 課

標記の研究会の第3回目の会議を開催しましたので、その概要を報告します。

1 日時・場所等

(1) 日時 11月10日（金）13:00～15:00

(2) 場所 県庁議会棟3階 特別会議室

(3) 出席者

ア 委員 谷口座長、河村副座長、井上委員、山下委員、山田委員

イ 自治体代表 平井知事、吉田鳥取県町村会会長（八頭町長）

ウ 参考人 山根鳥取県町村議会議長会会長（若桜町議会議長）

※小島委員、鳥取県市長会は欠席。

※総務省自治行政局行政課、同省選挙部選挙課・管理課、各市町村がオンラインで視聴

2 検討内容

第1回・第2回研究会で出された意見等について更に深掘りするとともに、研究会報告の構成について議論を行った。

(1) 主な意見

ア 主権者教育関係

- ・民主主義がうまく機能しない原因として、「社会的ジレンマ」（集団として皆が政治参加し民主主義を良くしていくことが大事だが、個人単位で見ると投票を棄権して他の事をする方が得といった状況）の問題がある。集団利益だけでなく、個人利益を考えることも重要である。
- ・学校によって主権者教育の取組に差があるので、各学校で体系立てて進めるべき。

イ 投票環境の向上関係

- ・公選法上、選挙期日に投票所において投票することが原則とされているが（投票当日投票所投票主義）、平日の投票をもっと一般化すべき。時代に沿わなくなっている点は見直すべき。
- ・投票所の閉鎖時刻の繰上げを行うのなら、代わりに共通投票所を設置するなど、選挙権保障の観点も必要である。
- ・投票所設置に関して、立会人の確保が課題であり、学生等に協力を求めることも一法である。

ウ 議員のなり手不足解消関係

- ・住民と直に接する場を増やすことで、政治や議員との距離を縮めていける。議会主導の説明会だけでなく、住民が主体となるような取組があるとよい（例：宮城県大和町の「これからの大和町議会のあり方ゼミナール」）。

(2) 研究会報告の構成案について

構成案を提示したところ、委員からは概ね「よく練られている」「異論なし」との意見であった。

第1 はじめに	
第2 県民の政治参画に関する現状と課題	1 投票率及び議員のなり手不足に関する現状認識 2 本研究会の課題認識と検討内容
第3 民主主義の再興（主権者教育）	1 民主主義の再興の必要性 2 主権者教育、選挙に関する常時啓発の現状 3 より実践的な主権者教育を進める際の視点
第4 投票環境の向上	1 投票環境向上の必要性 2 投票環境の現状と市町村における投票環境向上の対応状況 3 投票環境向上を促進する際の視点
第5 議員のなり手不足に対する対策	1 議員のなり手不足解消と多様性確保の必要性 2 県・市町村議会における議員の多様性確保、議会改革等の現状 3 議員のなり手不足対策を促進する際の視点
第6 おわりに	

3 今後の予定

第4回研究会を12月12日（火）に開催し、具体的な研究会報告内容について検討する。

※12月中を目途に第5回研究会を開催し、研究会報告を発出予定。

令和4年度決算（市町村分）に係る健全化判断比率・資金不足比率（確定値）について

令和5年11月30日
市 町 村 課

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」により、市町村において令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率が算定され、数値が確定しましたので報告します。

（1）健全化判断比率

○ 早期健全化基準以上となる団体 . . . なし

○ 健全化判断比率の状況（対前年度比較）

早期健全化等の判断の目安となる健全化判断比率に係る県内市町村の状況は次のとおり。

①実質赤字比率 . . . 前年度と同様、全市町村で赤字なし

②連結実質赤字比率 . . . 前年度と同様、全市町村で赤字なし

③実質公債費比率 . . . 起債発行の抑制や繰上償還などによりおおむね減少傾向にあり、地方債発行に許可が必要な18%以上の団体も無い。

④将来負担比率 . . . 起債発行の抑制等に伴う起債残高の減少等によりおおむね減少傾向にあり、各団体とも健全な財政運営に努めている。

* 将来負担比率なし（＝起債残高等の将来負担額が、基金残高や後年度に措置される交付税より少ない）の団体

岩美町、三朝町、大山町、伯耆町、日南町、日野町

※健全化判断比率の内容、早期健全化基準・財政再生基準、市町村ごとの比率については、別紙「各市町村の健全化判断比率一覧（令和4年度決算）」を参照。

（2）資金不足比率（公営企業に係る指標）

○ 経営健全化基準以上となる団体 . . . なし

○ 資金不足比率の状況 . . . なし

※「資金不足比率」：公営企業ごとの資金不足の比率（対事業の規模（営業収益））。
資金不足比率の経営健全化基準＝20%

【別紙】各市町村の健全化判断比率一覧（令和4年度決算）

各市町村のいずれの指標も早期健全化基準及び財政再生基準を下回っている。

（単位：％）

指標 市町村名	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
鳥取市	－（*1） （－）（*2）	－ （－）	8.7 （8.9）	62.5 （63.8）
米子市	－ （－）	－ （－）	8.2 （8.0）	53.0 （68.6）
倉吉市	－ （－）	－ （－）	8.1 （10.0）	44.0 （66.4）
境港市	－ （－）	－ （－）	10.1 （10.8）	97.7 （109.8）
岩美町	－ （－）	－ （－）	8.9 （10.1）	－ （7.0）
若桜町	－ （－）	－ （－）	7.9 （7.2）	1.8 （－）
智頭町	－ （－）	－ （－）	12.2 （11.3）	49.8 （74.0）
八頭町	－ （－）	－ （－）	9.1 （9.2）	20.7 （19.8）
三朝町	－ （－）	－ （－）	7.9 （7.9）	－ （－）
湯梨浜町	－ （－）	－ （－）	6.3 （7.6）	3.2 （10.2）
琴浦町	－ （－）	－ （－）	12.9 （13.7）	61.5 （71.3）
北栄町	－ （－）	－ （－）	9.9 （10.4）	47.4 （64.8）
日吉津村	－ （－）	－ （－）	10.8 （11.6）	9.5 （－）
大山町	－ （－）	－ （－）	9.9 （10.1）	－ （－）
南部町	－ （－）	－ （－）	9.6 （10.1）	6.2 （11.9）
伯耆町	－ （－）	－ （－）	6.8 （6.7）	－ （－）
日南町	－ （－）	－ （－）	7.2 （6.8）	－ （－）
日野町	－ （－）	－ （－）	6.9 （6.0）	－ （－）
江府町	－ （－）	－ （－）	13.9 （13.5）	81.1 （81.1）
平均	－ （－）	－ （－）	9.2 （9.5）	28.3 （34.1）
早期健全化基準（*4）	11.25～15（*3）	16.25～20（*3）	25	350
財政再生基準（*4）	20	30	35	

*1. 各指標の下段（ ）書きは、令和3年度決算における数値。

*2. 「－」は、当該比率が生じていない（赤字なし）ことを表している。

*3. 実質赤字比率及び連結実質赤字比率の早期健全化基準は市町村の財政規模に応じて設定される。

*4. 健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれかが早期健全化基準以上である場合には「財政健全化計画」を、財政再生基準以上である場合には「財政再生計画」を、それぞれ当該比率を公表した年度の末日までに定める必要がある。

<参考>健全化判断比率及び資金不足比率の説明

○実質赤字比率

地方公共団体の一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$$

○連結実質赤字比率

すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$$

○実質公債費比率

借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \times 100$$

(3か年平均)

○将来負担比率

地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額}) + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額}}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \times 100$$

○資金不足比率

公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}} \times 100$$

※資金の不足額

資金の不足額（法適用企業）

$$= (\text{流動負債} + \text{建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高} - \text{流動資産}) - \text{解消可能資金不足額}$$

$$\text{資金の不足額（法非適用企業）} = (\text{繰上充用額} + \text{支払繰延額} \cdot \text{事業繰越額} + \text{建設改良費以外の経費の財源に充てるために起こした地方債現在高}) - \text{解消可能資金不足額}$$

※事業の規模

事業の規模（法適用企業）＝ 営業収益の額－受託工事収益の額

事業の規模（法非適用企業）＝ 営業収益に相当する収入の額－受託工事収益に相当する収入の額

事業の規模（宅地造成事業のみ行う企業）＝ 資本の額＋負債の額

<参考>

令和4年度市町村普通会計の決算の概要

<概要>

- 新型コロナウイルス感染症対策の経費が減少したことなどが影響し、歳入歳出ともに2年連続で減少した。一方で、燃料高・物価高対策の経費などが増加し、歳入歳出規模は最大規模の令和2年度、2番目の令和3年度に次いで、過去3番目の規模となった。
- 歳入は、子育て世帯・住民税非課税世帯への臨時特別給付事業費補助金の減等による国庫支出金の減、可燃物処理施設の整備完了による事業費の減による地方債の減等により、対前年度比で3.9%減少した。
- 歳出は、災害復旧費が増加した一方で、子育て世帯・住民税非課税世帯への臨時特別給付金の減により扶助費が大きく減少し、対前年度比で3.5%減少した。

<歳入>

(単位：百万円、%)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
地方税	68,223	18.4	66,672	17.3	1,551	2.3
地方譲与税	2,621	0.7	2,550	0.7	71	2.8
地方特例交付金等	522	0.1	1,658	0.4	▲ 1,136	▲ 68.5
地方交付税	98,268	26.5	99,804	25.9	▲ 1,536	▲ 1.5
地方消費税交付金等各種交付金	15,522	4.2	15,362	4.0	160	1.0
国庫支出金	62,502	16.9	70,746	18.3	▲ 8,244	▲ 11.7
県支出金	28,919	7.8	26,631	6.9	2,288	8.6
地方債	24,020	6.5	32,937	8.5	▲ 8,917	▲ 27.1
繰入金	6,387	1.7	7,304	1.9	▲ 917	▲ 12.6
その他	63,512	17.2	62,036	16.1	1,476	2.4
歳入合計	370,496	100.0	385,700	100.0	▲ 15,204	▲ 3.9

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

○主な増減

- 【地方特例交付金等】新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の減
- 【地方交付税】臨時財政対策債償還基金費の皆減による普通交付税の減
- 【国庫支出金】電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金の皆増、子育て世帯・住民税非課税世帯への臨時特別給付事業費補助金の減
- 【地方債】可燃物処理施設の整備完了による事業費の減、臨時財政対策債の減

<歳出>

(単位：百万円、%)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	144,416	40.3	151,703	40.9	▲ 7,287	▲ 4.8
うち人件費	47,118	13.2	47,237	12.7	▲ 119	▲ 0.3
うち扶助費	65,308	18.2	72,341	19.5	▲ 7,033	▲ 9.7
うち公債費	31,991	8.9	32,125	8.7	▲ 134	▲ 0.4
投資的経費	38,758	10.8	40,115	10.8	▲ 1,357	▲ 3.4
うち普通建設事業費	35,101	9.8	37,617	10.1	▲ 2,516	▲ 6.7
うち災害復旧事業費	3,657	1.0	2,498	0.7	1,159	46.4
その他の経費	175,138	48.9	179,313	48.3	▲ 4,175	▲ 2.3
うち補助費等	50,945	14.2	52,230	14.1	▲ 1,285	▲ 2.5
うち積立金	10,670	3.0	13,085	3.5	▲ 2,415	▲ 18.5
うち貸付金	30,198	8.4	32,967	8.9	▲ 2,769	▲ 8.4
歳出合計	358,312	100.0	371,132	100.0	▲ 12,820	▲ 3.5

(注) 端数調整のため計と内訳が一致しない場合がある。

○主な増減

- 【扶助費】子育て世帯・住民税非課税世帯への臨時特別給付金の減
- 【普通建設事業費】市民交流センター整備事業(境港市)の減、超高速情報通信基盤整備事業(鳥取市)の減
- 【災害復旧費】令和3年7月豪雨、令和4年1月豪雪による災害復旧対応(繰越明許分)による増
- 【積立金】財政調整基金及び減債基金への積立額の減
- 【貸付金】新型コロナウイルス対策に係る制度融資の減

令和4年度 市町村別普通会計決算の状況

(単位：百万円、%)

市町村名	歳入総額		歳出総額		義務的経費		普通建設事業費		実質収支		経常収支比率		地方債現在高		基金残高	
	増減額		増減額		増減額		増減額		増減額		増減額		増減額		増減額	
鳥取市	▲ 8,853	112,371	▲ 8,031	45,484	▲ 2,544	8,536	▲ 1,097	2,688	▲ 379	88.2	2.6	115,229	▲ 865	10,823	426	
米子市	▲ 2,997	78,149	▲ 2,347	33,147	▲ 2,593	7,567	▲ 94	1,152	▲ 429	89.9	2.8	60,170	▲ 1,833	11,009	1,683	
倉吉市	▲ 212	31,093	12	13,113	▲ 674	2,429	44	890	▲ 70	89.7	3.3	27,397	▲ 1,289	5,774	372	
境港市	▲ 1,452	19,666	▲ 1,187	7,866	▲ 243	2,697	▲ 1,095	521	30	91.2	7.4	11,813	▲ 570	4,094	▲ 16	
岩美町	▲ 459	7,308	▲ 437	3,169	▲ 71	353	▲ 194	128	▲ 27	85.2	2.1	7,057	▲ 339	3,587	391	
若桜町	▲ 196	3,718	▲ 253	1,430	17	456	▲ 60	274	50	88.3	4.1	4,180	▲ 16	2,166	85	
智頭町	▲ 520	6,641	▲ 560	2,517	▲ 64	813	70	134	2	93.8	2.5	8,294	▲ 264	2,993	149	
八頭町	▲ 400	12,031	▲ 277	4,939	▲ 183	1,679	▲ 244	962	▲ 21	89.6	3.3	12,928	27	6,732	171	
三朝町	800	6,559	862	1,961	▲ 151	1,540	825	108	55	83.3	4.3	6,032	734	3,348	178	
湯梨浜町	▲ 136	10,623	▲ 137	4,721	▲ 264	1,248	134	323	16	87.8	2.5	12,717	▲ 410	5,834	▲ 40	
琴浦町	205	12,029	138	5,239	▲ 295	788	30	598	142	91.3	2.2	9,650	▲ 857	3,452	122	
北栄町	205	11,124	316	3,889	▲ 330	840	▲ 288	287	▲ 90	86.2	2.8	7,327	▲ 137	4,030	491	
日吉津村	▲ 80	3,324	▲ 64	1,256	44	928	266	98	▲ 18	77.0	1.8	3,137	446	1,063	▲ 8	
大山町	▲ 577	11,728	▲ 441	4,532	▲ 269	1,235	▲ 156	500	49	93.3	5.4	8,337	▲ 596	6,308	▲ 137	
南部町	▲ 643	7,714	▲ 564	3,073	▲ 67	648	▲ 609	262	▲ 103	88.9	2.1	5,955	▲ 399	3,320	75	
伯耆町	50	7,884	49	3,479	250	780	▲ 44	491	170	87.1	3.6	4,765	▲ 612	4,391	130	
日南町	▲ 344	7,157	▲ 368	2,039	94	1,174	▲ 331	269	47	93.7	3.9	7,944	▲ 66	5,984	235	
日野町	455	4,651	382	1,203	43	1,135	543	182	64	81.8	4.0	3,841	432	3,408	237	
江府町	▲ 49	4,543	86	1,360	12	256	▲ 216	285	▲ 156	95.9	15.0	4,475	▲ 118	1,863	301	
合計 (平均)	▲ 15,204	358,312	▲ 12,820	144,416	▲ 7,287	35,101	▲ 2,516	10,150	▲ 669	88.5	3.9	321,246	▲ 6,733	90,178	4,844	

※端数処理により、計と内訳が一致しない場合がある。

令和4年度市町村地方公営企業の決算の概要

- 決算規模は、705億円（対前年度△24億円、△3.3%）となった。
観光施設事業及び宅地造成事業等が増加したが、病院事業及び下水道事業等が減少した。
- 総収支は、黒字幅が縮小し、22億円（対前年度△7億円、△23.7%）となった。
観光施設事業及び駐車場整備事業等が増加したが、病院事業及び下水道事業等が減少した。
- 企業債残高は、2,257億円（対前年度△88億円、△3.8%）となった。
宅地造成事業が増加したが、それ以外の事業が減少した。
- 他会計繰入金は、187億円（対前年度15億円、+8.9%）となった。
水道事業及び下水道事業等で増加した。
- 累積欠損金（法適用事業に限る）は、171億円（対前年度△5億円、△3.0%）となった。
観光施設事業等で増加したが、水道事業及び病院事業等で減少した。

決算規模

（単位：百万円、%）

区分	令和4年度	令和3年度	対前年比較	
			増減額	増減率
水道	14,475	14,549	△74	△0.5
工業用水道	1	8	△7	△87.5
電気	530	523	7	1.3
病院	19,225	19,564	△339	△1.7
下水道	33,635	36,374	△2,739	△7.5
市場	170	133	37	27.8
観光施設	992	805	187	23.2
宅地造成	667	110	557	506.4
駐車場整備	666	674	△8	△1.2
介護サービス	149	195	△46	△23.6
合計	70,510	72,934	△2,424	△3.3

※決算規模は、法適用事業にあつては、総費用（税込み）－減価償却費＋資本的支出、法非適用事業にあつては、総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金。

※端数調整のため、内訳と計が合わない場合がある。（以下の表についても同じ。）

総収支

（単位：百万円、%）

区分	令和4年度	令和3年度	対前年比較	
			増減額	増減率
水道	906	1,027	△121	△11.8
工業用水道	△2	△11	9	81.8
電気	78	63	15	23.8
病院	587	1,011	△424	△41.9
下水道	1,227	1,483	△256	△17.3
市場	6	15	△9	△60.0
観光施設	△92	△117	25	21.4
宅地造成	7	3	4	133.3
駐車場整備	△531	△612	81	13.2
介護サービス	0	0	0	-
合計	2,185	2,864	△679	△23.7

※総収支額は、法適用事業にあつては純損益、法非適用事業にあつては実質収支であり、他会計繰入金等を含む。

企業債現在高

(単位：百万円、%)

区分	令和4年度	令和3年度	対前年比較	
			増減額	増減率
水道	46,723	47,665	△ 942	△ 2.0
工業用水道	0	0	0	-
電気	448	481	△ 33	△ 6.9
病院	11,197	12,671	△ 1,474	△ 11.6
下水道	164,732	171,552	△ 6,820	△ 4.0
市場	598	605	△ 7	△ 1.2
観光施設	409	445	△ 36	△ 8.1
宅地造成	726	119	607	510.1
駐車場整備	140	147	△ 7	△ 4.8
介護サービス	764	869	△ 105	△ 12.1
合計	225,736	234,554	△ 8,818	△ 3.8

他会計繰入金

(単位：百万円、%)

区分	令和4年度	令和3年度	対前年比較	
			増減額	増減率
水道	1,920	1,581	339	21.4
工業用水道	0	0	0	-
電気	0	0	0	-
病院	3,710	3,667	43	1.2
下水道	12,435	11,415	1,020	8.9
市場	13	9	4	44.4
観光施設	535	396	139	35.1
宅地造成	5	27	△ 22	△ 81.5
駐車場整備	55	3	52	1,733.3
介護サービス	64	105	△ 41	△ 39.0
合計	18,737	17,203	1,534	8.9

累積欠損金 ※法適用事業のみ

(単位：百万円、%)

区分	令和4年度	令和3年度	対前年比較	
			増減額	増減率
水道	545	663	△ 118	△ 17.8
工業用水道	2	0	2	皆増
電気	0	0	0	-
病院	14,276	14,721	△ 445	△ 3.0
下水道	799	878	△ 79	△ 9.0
市場			0	-
観光施設	1,480	1,364	116	8.5
宅地造成			0	-
駐車場整備			0	-
介護サービス			0	-
合計	17,102	17,626	△ 524	△ 3.0

「伸びのびトーク in 三朝町」の開催結果について

令和5年11月30日
県民参画協働課

県民の皆様（住民・NPO法人・経済団体・地域活性化等に取り組む団体等）と行政関係者等が、その地域が直面する課題などについて意見交換を行う「伸びのびトーク」を三朝町で開催しました。

- 1 日時 令和5年10月25日（水） 午前10時から正午まで
- 2 場所 三朝町総合文化ホール（三朝町大瀬999）
- 3 参加者 内外精機工業株式会社 代表取締役社長 村津敬介氏、次長 吉田秀幸氏
(12名) 三朝温泉旅館協同組合 理事長 沖田雅浩氏
三朝館 総務経理部長 井勢将之氏
三朝町商工会 会長 福田茂樹氏
三朝町長、副町長、地域振興監、観光交流課長
知事、地域社会振興部長、中部総合事務所長

4 意見交換のテーマ 「人口減少による雇用・人材の確保について」

5 主な意見等

（内外精機工業（株）の取組等）

- ・求人を出しても応募が少なく、入社しても長続きせずに辞めてしまい、人員不足の状態が続いていた。従業員に長く勤めてもらうため、完全週休二日制の導入、基本給・手当の見直し、特別休暇など色々、制度の改正を実施したところ、辞める従業員が減少し若手が増えた（50名中26名が20～30歳代）。
- ・今後、従業員が定着し技術者が育てば、もう少し顧客に満足してもらえる製品が提供しやすくなる。

（三朝館の取組等）

- ・大幅な賃金改定や働き方・休み方の改善（年間休日107日、残業時間の削減管理）等を行った。
- ・新入社員や外国人スタッフにもわかりやすい動画の研修マニュアルを従業員自ら制作。新入社員の半分以上が宿泊業未経験のため、長く勤めてもらえるように研修内容を充実させ、全社員でフォローしている。
- ・館内リニューアルに伴い、食事会場をイステープル席にしたことで、従業員が立ったり座ったりする動作がなくなり、膝や腰の負担が軽減されて作業効率も上がった。客室のリニューアルはお客様の満足度の向上だけでなく、新しい部屋を担当するスタッフのモチベーションアップにも繋がった。

（三朝町商工会）

- ・人材の確保は、職場環境をどのようにつくるか。ただ単に売上を追求するのではなく、従業員をいかに大事にして育てていくかが一番のポイント。

（三朝温泉旅館協同組合）

- ・調理人の確保が一番の課題。続けられなくなる旅館も出てくるのではないかと。地域でレストラン的なものを作り、そこでお客様に食事をしてもらうような仕組みを考えないといけない。町や県と相談しながら考えていきたい。

【知事発言】

- ・内外精機工業は若い職人さんが最新鋭の機器で正確な作業をされており、やはり技術力が大切だと感じた。県もICTを取り入れた付加価値の高い製造業を育成していこうとしている。そのためにはリスクリングも含めた人材育成という意味で、非常にモデル的なケースと言える。
- ・三朝館は人を育てるという意味で、動画マニュアルを制作されていたが、礼儀作法や食事の提供等マニュアル化できるもので、サービス業に共通するコンテンツを作っても良いかもしれない。人材育成の仕組みについて検討してみたい。
- ・両社とも人材育成に向けて積極的に給与や特別休暇等の処遇面での改善を行っており、全産業の問題として色々な関係団体と協議して浸透を図り、「新しい資本主義」が円滑に進むよう促進していきたい。
- ・調理人の確保について、県内の調理職養成課程である程度は賄うものかもしれないが、県も「食パラダイス」として、お客様がわざわざ食べに来てくれるような魅力づくりをやるべき。調理人の皆さんがブラッシュアップして、お客様に感動を与えるような食事の提供が宿や観光地、町の魅力になると思うので、応援の仕組みを作っていきたい。町や皆さんの考えで、例えば宿泊分離で中核レストランを作ろうというのは県としても応援できるのではないかと。

【意見交換の様子】



○伸びのびトークの開催状況

- 令和5年度：2回（日野町、三朝町）
- 平成30年度：3回（伯耆町・大山町・若桜町）
- 平成29年度：5回（北栄町・湯梨浜町・南部町・日南町・江府町）

【三朝町での過去の開催概要】

- 開催日：平成24年3月17日、会場：竹田地区公民館
- テーマ：地域協議会の活動と地域活性化について

- 開催日：平成22年6月21日、会場：町営国民宿舎グランドみささほか
- テーマ：これからの三朝温泉～地域資源を生かした産業振興～

令和5年度鳥取県パートナー県政推進会議の開催結果について

令和5年11月30日

県民参画協働課

「県政は県民のパートナー・地域のパートナー」であることを原点として平成25年に制定した鳥取県民参画基本条例の基本理念に基づき、県政への県民意見の反映や県民と県政との協働のあり方について議論を深め、施策の改善を検討するため、令和5年度鳥取県パートナー県政推進会議を開催しました。

- 1 開催日 令和5年11月23日（木・祝）午前10時から正午まで
- 2 場所 災害対策本部室、中部総合事務所災害対策室、西部総合事務所災害対策室、その他オンライン参加
- 3 出席者 委員14名（名簿のとおり）、知事、地域社会振興部長
- 4 テーマ 地域の活力による「輝くふるさと鳥取」づくり
- 5 主な意見等



(1) 地域・人づくり関連

- ・家族を大事にするような提案、事業、活動が必要。家族の存在というものを今一度クローズアップすることが大事ではないか。
- ・高齢者が働くためにも健康が一番なので、高齢者に検診をしっかり受けてもらうための啓発活動が必要。
- ・県の委員会やボランティアへの参加方法やイベントを知る機会がもっと増えるとよい。
- ・子どもたちが放課後に学校の垣根を越えてスポーツができる場が作れないか。また、モルック等の老若男女を問わないスポーツができる環境があるとよいのではないか。
- ・地域の活動を持続できるよう支援する仕組みがあるとよい。
- ・フードバンク事業について、支援物資が各圏域間でうまく流通できるよう、ハブとなる拠点を作るなど県全体の仕組みを考えてみてはどうか。

(2) 観光関連

- ・鳥取県の原風景を感じたり原体験ができたりする機会を自分たちの手で創造的に広げたいが、コーディネートを自治体や産学共同の研究機関等と連携しながら進めることができればよいのではないか。
- ・外国人や県外者の利便性向上のため、分かりやすい案内表示や看板を設置してはどうか。
- ・米子空港の中にカフェを作って利用客増加に繋げてはどうか。また、鳥取県の魅力をSNSで発信して来県者の増加に繋げてはどうか。
- ・鳥取砂丘以外にも「砂」に縁のある地域をまとめて「砂」をテーマにした様々な施策やコンテンツを考えてみてはどうか。

(3) 経済関連

- ・コロナの収束に伴い、飲食業や宿泊業の人手不足が心配。業務のDX化、副業の活用、外国人の就労も推進していかなければならない。
- ・再生可能エネルギーの普及を考えているが、県内事業者が取り組んで、県内でのエネルギー活用ができるよう県もサポートしてほしい。
- ・スマート農業はインフラ整備ができておらず進みにくい。インフラ整備を早めに展開していただきたい。

6 知事のコメント

- ・活発な意見、示唆に富むお話をいただき感謝申し上げます。こうしたご意見、或いは色々な考え方を県政の中に反映させていくことを誠実に行うとともに、皆様としっかり連携を取っていきたい。

7 今後の予定

- ・令和5年12月上旬 各部局へ委員意見の伝達、対応方針作成
- ・令和6年2月上旬 令和6年度当初予算との関連状況について各部局に照会・とりまとめ
- ・令和6年3月 各委員にとりまとめ結果を送付

令和5年度 鳥取県パートナー県政推進会議 出席者名簿

[委員]

[会場ごとの50音順]

会場	氏名	所属等
東部	河上 知奈 (かわかみ ちな)	公立鳥取環境大学 環境学部 2年
	澤 華陽 (さわ はるひ)	鳥取商業高等学校 3年
	豊福 聡 (とよふく さとし)	鳥取市立修立地区公民館 館長
	原田 向日葵 (はらだ ひまわり)	鳥取商業高等学校 3年
	山田 茜里 (やまだ あかり)	公立鳥取環境大学 環境学部 3年
	吉田 高文 (よしだ たかふみ)	公立鳥取環境大学 経営学部 学部長、教授
中部	田民 義和 (たたみ よしかず)	公益社団法人倉吉市シルバー人材センター 理事長
	山脇 篤志 (やまわき あつし)	大栄西瓜組合協議会 会長
西部	井上 可奈子 (いのうえ かなこ)	ゲストハウスてま里 代表
	川上 敬之 (かわかみ たかゆき)	鳥取県商工会青年部連合会 会長
	辻 洋江 (つじ ひろえ)	子ども食堂ネバーランド 副代表
その他 (オンライン)	貝本 正紀 (かいもと まさき)	映像制作会社アマゾンラテルナ 鳥取大山オフィス 代表
	辻 昌宏 (つじ まさひろ)	RBTC株式会社 代表
	牧野 健治 (まきの けんじ)	株式会社エナテクス 専務取締役

(御欠席の委員)

氏名	所属等
首藤 あずさ (しゅとう あずさ)	鳥取県 JAICA デスク 国際協力推進員
中原 美幸 (なかはら みゆき)	EN+ER (エンター) 企画 代表
黄 龍也 (ふあん よんや)	在日本大韓国民国民団鳥取県地方本部 団長
三好 亜美 (みよし あみ)	日本海テレビ報道制作局 報道部 社員

[鳥取県]

氏名	所属
平井 伸治 (ひらい しんじ)	鳥取県知事
盛田 聖一 (もりた しょういち)	地域社会振興部長

令和5年度県政モニタリング事業の実施結果について

令和5年11月30日

県民参画協働課

多様化する県民の意見を県政に反映させるため、特定の県政テーマについて県政モニターに「県民目線・県民感覚」による課題整理や改善に向けた提案を行っていただきましたので、その概要を報告します。

1 事業概要

(1) 対象テーマ及び実施体制

テーマ	人口減少対策について
県政モニター	5名(公募)
コーディネーター	国立大学法人鳥取大学 地域学部教授 多田憲一郎(ただ・けんいちろう)氏
テーマ関係課	輝く鳥取創造本部中山間・地域振興局人口減少社会対策課

(2) 活動概要

- ・7月～9月 モニター会議での意見交換(3回実施)
- ・10月23日 県(地域社会振興部長)への提案書提出

2 提案の概要

モニターが整理した課題	課題に対する提案(主なもの)
① 本県の人口減少に歯止めをかけるためには、都市圏に流出した若者やファミリー層をターゲットに重点的に情報発信を行いIJUターンに繋げることがその対策の一つとなることから、 <u>若者に対する情報発信が必要</u> である。	<ul style="list-style-type: none"> ● 首都圏や関西圏へのアクセスの良さと家賃の安さを情報発信する。 ● 都市圏と本県の比較分析を行い、若者にとっての本県の魅力を整理して情報発信を行う。 ● Instagramでフォロワー数の多い一般人を県のアンバサダーに任命し、本県のよいところについて情報発信を行う。 ● 若者の利用する頻度の高いSNS媒体(YouTube、X(旧:ツイッター)、Instagram、フェイスブック)による情報発信を強化する。 ● 本県と就職支援協定を締結している大学に学生への情報提供を依頼する。 ● 県外の児童・生徒に対し、修学旅行を誘致して本県のPRを図る。 ● 本県の旬な話題や暮らしに役立つ情報、就活情報等を配信するスマートフォンアプリ「とりふる」を積極的に活用する。
② 本県と継続的に多様な形でかかわる「関係人口」を移住者として取り込むことは、単なる人口増加に繋がるだけでなく、更なる関係人口の創出、移住者の拡大に向けた好循環を生み出すことから、 <u>関係人口から移住への取込みが必要</u> である。	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家を活用して先進的な取組を行う市町村の事例をベースに県として支援を行う。 ● 移住者の起業を支援する政策を推進し、鳥取県で起業を目指す移住者の取込を推進する。 ● 農業で起業したいと考えている県外者を呼び込むために、農地及び農機具の手配並びに支援者(指導・助言者)を紹介できる仕組みを構築する。 ● 県内の大学と連携して卒業生の地元定着を強化する。 ● 住人と移住者をつなぐ架け橋となるような地域イベントを開催して双方の交流を促進したり、双方をつなぐコーディネーターを配置したりすることで、移住者が地域に馴染むような環境を醸成する。

3 今後の予定

いただいた提案は、今後の事業実施や予算要求等への反映を検討していく。



提案書の提出 (R5.10.23)

とっどりの若者による政策提案会について

令和5年11月30日

とっどり未来創造タスクフォース、県民参画協働課

県庁若手職員で構成された「とっどり未来創造タスクフォース」と、県内の高校生から30代までの方で構成された「とっどり若者活躍局」が合同で「とっどりの若者による政策提案会」を開催し、知事に対して政策提案等の中間報告を行いました。

今回の政策提案会を皮切りに、地域課題の解決に資する提案内容を練り上げ、県の政策への反映に向けて進めていきます。

1 開催概要

- (1) 日 時 令和5年11月11日(土) 10時～11時
- (2) 場 所 SANDBOX TOTTORI (鳥取市浜坂)
- (3) 出席者 とっどり若者活躍局メンバー(8名*)、とっどり未来創造タスクフォース(5名)、知事、副知事、統轄監、関係部長
*若者活躍局メンバー全36名(高校生5名、大学生18名、社会人13名)のうち8名が参加

※提案会の様子はYouTubeでライブ配信を行い、後日YouTube鳥取県公式チャンネル「とっどり動画ちゃんねる」で配信するとともに、FM鳥取及びDARAZ FMにおいて11月下旬以降10回程度放送する予定。

2 政策提案の概要

以下の分野ごとに、若手県民目線の各種アイデアについて県幹部と意見交換を行いました。(今後、政策としての実現性や効果など、さらなるブラッシュアップを図る予定)

- (1) 移住・定住、地域活性化
 - ・移住・定住したくなる住環境と就業体験の提供
 - ・移住検討者やTeenの心をわしづかみ！移住プロモーション強化、若者Uターン・定住促進機能の強化
 - ・「何もない」を強みにした地域活性化
- (2) 出会い・出産・子育て
 - ・子育てしやすい環境づくり・小中高の学生への支援促進
 - ・産後ケア制度の仕組みの見直し
- (3) 情報発信、未来創造、県庁改革
 - ・県全体の発信力の底上げ、SNSで情報発信できる人材の育成
 - ・若者による公開ラジオ放送、若者世代のサードプレイス創出、30年後の鳥取県未来予想図
 - ・学生向けおためし社長プロジェクト
 - ・人材育成制度改革、人事評価制度改革、県庁オフィス環境の見直し

3 とっどり若者活躍局の活動報告

政策提案と併せて、とっどり若者活躍局自らが実施する取組概要についても中間報告しました。

- ・学生と若手社会人を繋ぐ「コネクタカフェ」(高校生・大学生と若手社会人との本音を語る交流機会の創出)
- ・鳥取砂丘テーマパーク化(年中楽しめるよう鳥取砂丘で非日常を味わえるイベントを開催)
- ・商店街ラクガキしちやい隊(地域活性化に向けて子どもと一緒にシャッターペイントを実施)
- ・インバウンド増加戦略(氷ノ山で留学生を対象としたモニターツアーを開催し、観光政策に反映)
- ・「鳥取県には何もない」を調査！地域を知り発信できる若者の育成(撮影スキルを学び、県内各地の映像を発信)
- ・個人端末で観光と魅力発信(県外からの観光客も巻き込んだSNSでのフォトコンテスト実施)



令和5年度鳥取県文化功労賞・文化奨励賞受賞者の決定について

令和5年11月30日
文化政策課

優れた文化芸術活動により広く文化の振興に功績のあった者の功労をたたえ、もって県民文化の向上発展に資することを目的として、平成15年度に鳥取県文化功労賞を創設し、また、文化芸術の各分野において、優れた業績をおさめた又は新生面を開くなど優れた活動を行った将来性のある新人（概ね40歳以下）を表彰し、挑戦やステップアップを後押しするため、令和4年度に鳥取県文化奨励賞を創設しています。

今年度は、以下のとおり各表彰2名ずつ、計4名の受賞が決定しました。

なお、2月中旬から、文化功労賞受賞者の功績を紹介する巡回展の実施を予定しています。

1 鳥取県文化功労賞受賞者（年齢順、敬称略。年齢は11月30日時点のもの。）

氏名等	選考理由
さかの まさと 坂野 真人 （81歳） 洋画 倉吉市	県立学校の美術教諭として勤めながら、昭和42年から県展、倉吉市展に出品し、県展賞2回、市展賞1回の受賞をはじめ、全国公募展の二紀展でも入選するなど、確かな描写力は高い評価を得ている。 県中部の美術グループ「砂丘社」や洋画家仲間と結成した「鳥取ミストラル」（現「ヴュ Vue」）の中心としても活動し、グループ展や個展は絵画を学ぶ者や美術ファンに絵画の魅力を伝えている。 また、教え子の中には県内外で美術教師や作家として活躍する者も少なくないなど、美術関係者の育成に寄与してきたとともに、鳥取県美術家協会の役職員として新事業の立ち上げや県展、倉吉市展の審査員及び運営委員を歴任するなど、県内の美術振興に大きく貢献している。
さぶり いくよ 佐分利 育代 （74歳） 舞踊 鳥取市	昭和50年より鳥取大学で体育学・舞踊学の教員として40年間指導・研究する傍ら、昭和53年には「鳥取ダンス愛好会」（現ダンスコング）を立ち上げ、様々な年齢や、学生、障がいのある人ない人たちが一緒に創り上げるダンス活動を通じ、県内のダンス愛好家や観客を増やし、本県におけるモダンダンスの普及や舞踊文化の基盤を築いた。 加えて、平成19年にはインクルーシブダンスグループ「星のいり口」を立ち上げ、メンバーが活動を楽しみながらそれぞれの個性を一緒に発揮し合う作品づくりを行い、「とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）」「あいサポート・アートとっとり祭（鳥取県障がい者舞台芸術祭）」などで積極的に発表を行い、共生社会の普及・実現に貢献している。

2 鳥取県文化奨励賞受賞者（五十音順、敬称略。年齢は11月30日時点のもの。）

氏名等	選考理由
たなはし きょうこ 棚橋 恭子 （38歳） 音楽（弦楽） 県外在住	優れた技術と豊かな芸術性を兼ね備えたヴィオラ奏者として、県内外で精力的に演奏活動を展開するとともに、とっとりチェンバーオーケストラをはじめ、県内でも多くのコンサートに出演し、質の高い演奏を県民に提供している。 また、演奏活動を通して親交のある海外及び全国の優れた音楽家を鳥取に招き、自ら共演するコンサートの主催や、マスタークラスの企画・実施など、地域の音楽文化の向上に寄与するとともに、地域や学校での演奏活動及び指導を数多く行い、若い世代の育成と活動者・鑑賞者の拡大に積極的に取り組んでいる。
はたの しゅうへい 波田野 州平 （43歳） 映像（映画） 県外在住	鳥取県中部在住の高齢者から丁寧に聞き取りを行い、地域の歴史をオーラル・ヒストリーという形で記録した監督作品『私はおぼえている』は、2021年10月の山形国際ドキュメンタリー映画祭での上映、ジョグジャカルタ国際ドキュメンタリー映画祭2022国際長編部門でのグランプリ受賞など、国内外で高い評価を得た。 同作品は、昭和という激動の時代を生きた市井の人々の生きざまを伝える優れた映画作品であるとともに、地域の歴史を後世に伝える上で、貴重な映像記録ともなった。 映画作家として国内外で評価されるとともに、活動の軸足を鳥取県やその近隣に置き、地元でのフィードワークをベースにした創作活動に取り組んでいる。

3 表彰式

調整中

4 文化功労賞受賞記念巡回展の開催

2月中旬から3月中旬にかけて、県内東・中・西部にて、受賞者の功績を紹介するための巡回展を開催する予定です。

5 過去の受賞者数

- (1) 文化功労賞：53名（平成15年度～令和4年度）
- (2) 文化奨励賞：2名（令和4年度）

(公財) 鳥取県文化振興財団の基本財産の取扱いについて

令和5年11月30日
文化政策課

公益財団法人鳥取県文化振興財団(設置時は、財団法人鳥取県文化振興財団。以下「文化振興財団」という。)の設置時に、県が基本財産として出えんした20億円の一部を取り崩すことについて報告します。

1 経緯

- 県は、文化振興財団の自主企画事業の安定的な実施及び本部運営のため、平成4年度、5年度に文化振興財団の基本財産として計20億円を出えんした。本部運営費及び自主企画事業費は、基本財産の運用益を財源に充当することとしているが、金利低迷により必要な額の確保が困難になっており、令和3年度に文化振興財団から、基本財産の一部を取り崩したい旨の協議があった。
- 文化振興財団は、節減や公演事業の見直しに取り組み、自主企画事業の実施に当たっては出演団体を在京の団体から在阪の団体への変更や、収支バランスを図った公演等の選定や助成金を積極的に活用しながら、繰越金等で対応されてきたところである。
- 例年1千万円あった運用収入が令和4年度には160万円に減少しており、当該運用収入を財源として実施している自主企画事業の縮小・中止は避けられない状況が続いている。

2 基本財産の一部取り崩しについて

文化振興財団においては、自主企画事業を公演地区や作品分野のバランスを考慮しつつ実施してきたが、実施件数を減少せざるを得ない状況になっている。

しかしながら、次世代育成や県民の多様な芸術を楽しむ環境確保のため、優れた実演公演や地方では鑑賞機会の少ない分野の作品を提供することが必要である。

以上のことから、自主企画事業に充当することを目的として、基本財産の一部について、単年度当たりの上限額を定め取り崩すことができるようにしたい。

(1) 単年度当たり上限額

20,000千円

(2) 取崩状況等の報告

文化振興財団は、基本財産を取り崩した場合は、経営状況報告書で報告する。併せて、使途の詳細(充当事業及び金額)を県へ報告する。

<参考:文化振興財団の基本財産について>

(1) 出えん時期と出えん額 平成4年度:15億円 平成5年度:5億円

(2) 基本財産取崩しの定款上の制限

基本財産は、評議員会において別に定めるところにより、法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならず、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

※財団法人(財団設立時)

基本財産は処分又は担保することができない。やむを得ない理由があるときは、理事現在数の4分の3以上の同意、かつ県知事及び県教育委員会の承認を得る。

第5回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会の開催結果について

令和5年11月30日 文化政策課

本県を「万葉の郷とっとりけん」として広く周知するとともに、若い世代における短歌文化の振興のため、「第5回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会」を開催しました。

- 1 日時 令和5年11月4日（土）午後1時半～午後3時45分
※チーム部門本選大会、審査員の歌人による短歌トークセッション
- 2 会場 とりぎん文化会館 第1会議室

3 チーム部門

(1) 概要 22チーム（17校）が参加した予選審査を通過した4チームによる、トーナメント方式の団体戦3試合を実施。各チームは万葉衣装に身を包み、自作の短歌作品の発表、審査員との質疑応答の後、審査員が勝者を判定。

(2) 出場チーム

チーム名	学校名
光合成朝ごはん	宮城県気仙沼高等学校（宮城県）
立教池袋Aチーム	立教池袋高等学校（東京都）
名古屋高校文学部	名古屋高等学校（愛知県）
海月L I F E（くらげらいふ）	高田（たかだ）高等学校（三重県）

(3) 大会結果

【優勝】「名古屋高校文学部」（名古屋高等学校）＜初出場＞

先鋒 「古本の匂いを差し上げましょうかお久しぶりですn回目の冬」 3年 福田 匠翔

中堅 「馴染めない宴会の姿造りの魚の頭が立たされていた」 3年 服部 亮汰

大将 「縁の無い地域の波浪警報を聞きつつ正露丸を飲み込む」 3年 加納 輝一

【準優勝】「光合成朝ごはん」（宮城県気仙沼高等学校）＜初出場＞

【敢闘賞】「立教池袋Aチーム」（立教池袋高等学校）＜初出場＞・「海月L I F E」（高田高等学校）

(4) 審査員

大辻 隆弘 氏（歌人、「未来」編集発行人・選者、現代歌人協会会員、現代歌人集会理事）

穂村 弘 氏（歌人、歌誌「かばん」所属、日経新聞歌壇選者）

江戸 雪 氏（歌人、「西瓜」同人、中之島歌会、2022年度「NHK短歌」選者）

4 個人部門 ※チーム部門の本選大会・予選審査員5名が462首の中から1首ずつ選定。

大辻隆弘審査員選 木枯らしを食べて元気になりましたあなたの息は数倍甘い

滋賀県立膳所（ぜぜ）高等学校 2年 池田 玲亜

穂村弘審査員選 音読をあてられキミは目を覚ます風にながれる塩素の匂い

鳥取県立鳥取東高等学校 2年 中島 幹太

江戸雪審査員選 三学期テストに励む君の背を見て考えるトリュフは好きかな

鳥取県立鳥取東高等学校 2年 土居 美佳

大森静佳審査員選 クロールの推進力が欲しいから水彩絵の具の青を手取る

神奈川県立光陵高等学校 1年 猪野田 涼奈

小島なお審査員選 朝起きて学校行って夜に寝る狭い世界で泣かないでくれ

東京家政学院高等学校 1年 武富 愛音

5 その他

チーム部門は、俳句甲子園等にも出場経験がある強豪校によるハイレベルな戦いとなり、短歌の発表や審査員との質疑応答でも、自らの短歌の魅力や工夫した点を客観的かつ的確にとらえた発言が多く、作品も含めて審査員から高く評価された。

県外参加者は、大会翌日に因幡万葉歴史館、因幡国庁跡、鳥取砂丘などをバスツアーで訪問した。

第 21 回鳥取県ジュニア美術展覧会の審査結果通知における個人情報の漏えいについて

令和 5 年 1 月 3 0 日 文化政策課

第 21 回鳥取県ジュニア美術展覧会（ジュニア県展）の審査結果の通知事務において、個人情報が漏えいする事案が発生しましたので報告します。

今後同様の事案が起きないように再発防止策を講じて、個人情報の適切な管理に努めます。

1 事案の概要

審査結果の公表の前に結果のお知らせ及び内容確認のため、ジュニア県展の審査結果リストを応募者が所属する学校及び団体へ郵送した際、一部の応募者の情報を誤って当該応募者が所属しない小中学校及び団体（書道教室）へ送付したものの。

(1) 漏えいした個人情報及び誤送付先

- ・応募者 18 名分の氏名（ふりがな含む）、学校名、学年、居住市町村名、作品の題名（ふりがな含む）、審査結果（入賞、入選、選外）
- ・誤送付先 公立小・中学校 7 校（16 名分）、1 団体（2 名分）

(2) 経緯

- ・令和 5 年 10 月 30 日（月）：審査結果リストを、応募者が所属する学校及び団体へ郵送。
- ・令和 5 年 11 月 1 日（水）午前 11 時頃：審査結果リストを受領した 1 学校から「所属しない応募者の情報が記載されている」との連絡があり誤送付が判明（3 件）。その後、午後 4 時に 1 小学校（1 件）、5 時 15 分に 1 団体（2 件）より同様の連絡があり誤送付が判明。
- ・11 月 1 日夜から 11 月 2 日（木）にかけて、全応募者 4,388 名について出品申込書と審査結果リストを照合したところ、更に 12 名について誤送付が判明した。

2 当課の対応

- ・誤送付先に対して謝罪と審査結果リストを回収又は廃棄を依頼（11 月 6 日（月）完了）
- ・該当の応募者及び応募者が所属する学校・団体、保護者へ謝罪と経緯の説明（11 月 6 日（月）完了）
※1 件について、誤送付が判明した日（11 月 2 日（木））が体験的学習活動等休業日だったため学校に連絡がつかず、全ての学校に連絡が完了したのは連休明けとなった。
- ・受託業者と情報を共有し、原因分析・報告を依頼した。11 月 14 日（火）に受託業者と再発防止策について協議し、残りの業務の個人情報の取り扱いの徹底について注意喚起した。

3 発生原因・問題点

- ・委託事業者が出品一覧表を作成する際に入力を誤り、併せて確認が不十分だった。
※誤った学校・団体の情報を入力（同じ名前の学校について学校種別を誤って入力する等）、複数データを一つにまとめる際の操作ミス、修正後のデータを貼るつけるべきところ、誤って修正前のデータを貼り付けたことによる。
- ・委託事業者から提出された出品一覧表に不備があったため、県の担当者がデータを修正した際に、学校名を誤って入力した（同じ名前の学校について学校種別を誤って入力）。入力後に確認をしていなかった。

4 再発防止策

- ・業務マニュアルを見直し、審査結果を通知する対象を入賞・入選に限定した上で、通知の前に、委託業者から提出される出品一覧表と出品申込書の照合・確認を徹底する。
- ・委託事業者に対し、必要な入力項目や入力後のチェックについて改めて徹底する。
- ・改めて課内で個人情報の適正な取り扱いの徹底について注意喚起を行う。

ジャマイカ選手団のキャンプ実施に係る覚書締結及び同国との交流協議について

令和5年11月30日
スポーツ課
交流推進課

コロナ禍で中断したジャマイカとの対面交流を再始動するため、11月12日～19日の日程で同国にて協議を行いました。本県と鳥取陸上競技協会、ジャマイカ陸上競技連盟の三者で2025年の世界陸上東京大会におけるジャマイカ選手団の事前キャンプ鳥取実施に係る覚書を締結しました。

また、姉妹提携先のウェストモアランド県（以下「ウ県」と）と、コロナ禍で中断していた往来による青少年交流再開について合意するなど、同国関係機関との間で今後の交流発展に係る協議を行いました。

1 2025 世界陸上東京大会事前キャンプに係る覚書締結式

(1) 日時：令和5年11月15日(水)午前10時から11時まで
(現地時間)

(2) 場所：ジャマイカ陸連事務所（キングストン）

(3) 列席者：浜崎晋一 鳥取陸上競技協会会長（鳥取県議会議長、
鳥取ジャマイカ友好議員連盟会長）ほか

ガス・ゲイル／ジャマイカ陸上競技連盟会長

渥美恭弘／在ジャマイカ日本国特命全権大使

デンゼル・スロープ／文化・ジェンダー・娯楽・スポーツ省次官

(4) 現地報道：TV Jamaica、CVM（二大民放局）、Jamaica Observer（主要紙）、IRIE FM（ラジオ局）

(5) 覚書骨子：①鳥取県、鳥取陸上競技協会、ジャマイカ陸上競技連盟の三者は2025世界陸上東京大会
に出場するジャマイカ代表選手団の本県での事前キャンプ実施に向け準備を進める。

②鳥取県民と代表選手団との交流を推進する。

③三者が今後緊密に連携し、事前キャンプ実施に係る具体的な協定締結に向け努める。

(6) 主な発言：（浜崎会長）この覚書を基に、鳥取でキャンプ受入れの準備を進める。来年の布勢スプリントにもゲイル会長をお招きし、そこで具体的な協定を結べるよう努力したい。

（ゲイル会長）鳥取県には大変感謝している。鳥取県は私たちとともに歩み、長年にわたりジャマイカチームに素晴らしいキャンプ施設を提供し、サポートしてくれた。

2025年に向け（鳥取で）準備することを楽しみにしている。



TV Jamaica でのニュース
同国内主要メディアで報じられた。

2 ウェストモアランド県との協議

(1) 日時：令和5年11月14日(火)午前10時から12時まで
(現地時間)

(2) 場所：ウ県庁舎（サバンナ・ラ・マール）

(3) 面会者：バーテル・モーア／ウ県知事

マーヴァリン・ピッター／〃CEO

マーシーン・B.ジャクソン／〃財務部長

ジーン・P. ブラウン／NEET*代表

デニス・ホーソーン／〃スポンサー（ほか）

※NEET（ネグリル教育環境財団）… 青少年交流におけるウ県側生徒派遣の主体となる団体

(4) 協議概要：○鳥取・ウェストモアランド両県の交流を今後も発展させる方向で双方一致。

○2019年以降、コロナ禍で中断していた往来による青少年交流（相互派遣）再開について大筋合意した。来年度は本県から派遣、2025年はジャマイカから本県への派遣を目指すこととした。

○ジャマイカの大阪・関西万博参加を契機とした更なる青少年等の交流について、ウ県の了解を得た。



ウ県、NEET 幹部と

3 その他訪問先

- ・ JICA ジャマイカ事務所
- ・ レゲエマラソン大会事務局
- ・ 西インド諸島大学（現代言語学・外国語学部日本語学科）

特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会における鳥取県選手団の結果について

令和5年11月30日
ス ポ ー ツ 課

鹿児島県で開催された特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、「燃ゆる感動かごしま大会」に参加した本県選手団の成績について報告します。

1 概要

(1) 参加者数

「燃ゆる感動かごしま国体」・本部役員19名(前回17名) ・監督、選手、トレーナー354名(前回325名)
「燃ゆる感動かごしま大会」・本部役員10名(前回9名) ・監督、選手、トレーナー37名(前回50名)

(2) 成績

「燃ゆる感動かごしま国体」

・正式競技41競技の鳥取県選手団獲得得点655.5点(参加得点400点、競技得点255.5点)
前回679.5点(参加得点400点、競技得点279.5点)

・男女総合成績(天皇杯)45位(前回44位)、女子総合成績(皇后杯)43位(前回40位)

「燃ゆる感動かごしま大会」

・金メダル10個、銀メダル4個、銅メダル11個、メダル獲得率83.3%(前回75%)

2 総括

- 「燃ゆる感動かごしま国体」では、天皇杯順位は45位であり前回から1つ順位を下げた。
・水泳競技(36点)、ローイング競技(35点)が30点以上の大量得点を獲得。
・ホッケー競技(20点)、セーリング競技(29点)、スポーツクライミング競技(15点)、自転車競技(16点)、相撲競技(24点)、馬術競技(19点)、カヌー競技(15点)が15点以上の得点を獲得。
特に、パリオリンピック内定の三上選手の成年女子飛板飛込優勝、県勢初優勝の自転車少年男子個人ロードレースに出場した吉田選手、14年ぶりに団体優勝した相撲成年男子が大きく貢献。
・水泳競技については、今回成年男子メドレーリレーを含む9種目で入賞を果たしたほか、オリンピック選手の輩出等、ジュニアから成年までの選手育成、一貫指導体制、強化体制の充実の成果が窺えたほか、馬術競技では競技人口が少ない中でも、着実に選手と競技馬の育成・強化が窺える成果となっている。
- 「燃ゆる感動かごしま大会」では、金メダル10個、銀メダル4個、銅メダル11個の合計25個のメダルを獲得し、メダル獲得率は過去最高となる83.3%となった。(鳥取県スポーツ推進計画で掲げている目標数値60%)
・陸上競技では今大会、旗手を努めた丸 幸慶(まる とみち)選手が100mで金メダルを獲得し、栃木大会に続き2連覇。また、田村海斗(たむら かいと)選手が、50m・立ち幅跳びで2冠。
・前回大会から正式種目となったボッチャでは、立位・座位ペア混合に山根直樹・安達和幸組が出場し、3組で行われるリーグ戦で1勝1敗の2位となり、昨年から1つ順位を上げた。
- 今後、ジュニア育成を進め、成年選手の輩出にも繋げていくとともに、必要な環境整備を段階的に進めていく。また、10年後の2033年の鳥取国民スポーツ大会に向けて強化策の検討を進める。

3 「燃ゆる感動かごしま国体」年度別競技得点及び総合成績

区分	70回(H27) 和歌山	71回(H28) 岩手	72回(H29) 愛媛	73回(H30) 福井	74回(R1) 茨城	77回(R4) 栃木	特別(R5) 鹿児島
少年	220.0	204.25	197.0	181.75	164.5	143.0	116.0
成年	102.5	149.25	154.5	169.25	149.5	136.5	139.5
合計	322.5	353.5	351.5	351.0	314.0	279.5	255.5
男女総合成績	40位	42位	42位	40位	43位	44位	45位
女子総合成績	30位	27位	30位	38位	27位	40位	43位

4 「燃ゆる感動かごしま大会」メダル内訳等(正式競技)

出場競技	出場者数	出場種目数 (延べ)	メダル数				
			金	銀	銅	合計	
個人競技	陸上競技	7(6)	15(12)	5(6)	2(2)	5(3)	12(11)
	水泳	2(2)	4(4)	1(0)	0(0)	2(1)	3(1)
	アーチェリー	1(1)	1(1)	1(0)	0(1)	0(0)	1(0)
	卓球	4(4)	4(4)	1(1)	1(1)	2(2)	4(4)
	フライングディスク	2(2)	4(4)	1(0)	0(1)	2(1)	3(2)
	ボウリング	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
	ボッチャ	2(2)	1(1)		1(0)	0(1)	1(1)
合計	19(25)	30(28)	8(6)	4(4)	8(8)	25(20)	

※個人競技への参加は1人2種目以内(リレーを除く)。陸上の出場種目数には4×100mリレーを含む。

※今年度大会の団体競技への参加はなし

5 入賞者一覧(別表の通り)

特別国民体育大会 入賞者一覧

会 期	《冬季大会》	スケート競技 (青森県)	令和5年 1月28日(土)～ 2月 2日(木)
		アイスホッケー競技 (青森県)	令和5年 2月 1日(水)～ 2月 5日(日)
		スキー競技 (岩手県)	令和5年 2月17日(金)～ 2月20日(月)
	《会期前》	6競技 (鹿児島県)	令和5年 9月16日(土)～ 9月24日(日)
	《本大会》	32競技 (鹿児島県)	令和5年10月 7日(土)～10月17日(火)

※会期前と本大会で1競技重複 開催競技は40競技

競技名		種別	種目	順位	競技得点	個人・団体名(所属)
スケート	フィギュア	成年女子		7	6	佐々木 和音 (環太平洋大学4年)
						永見 千代乃 (ノートルダム清心女子大学2年)
陸上競技		成年男子	やり投	5	4	石坂 力成 (鳥取県スポーツ協会)
水泳	競泳	成年男子	100m平泳ぎ	2	7	武良 竜也 (ミキハウス)
			100m背泳ぎ	8	1	堀田 恵路 (鳥取P A J A)
			200m個人メドレー	6	3	内山 拓海 (鳥取P A J A)
			4×100mメドレー	7	2	堀田 恵路 (鳥取P A J A) 武良 竜也 (ミキハウス) 林 正人 (鳥取P A J A) 本田 海雅 (皆生スイミングスクール)
		成年女子	100m背泳ぎ	8	1	宮城 歩優 (中京大学1年)
		少年男子A	200mバタフライ	6	3	上杉 了以 (米子北高等学校3年)
		少年女子B	100m背泳ぎ	2	7	上杉 凜 (米子北高等学校1年)
	飛込	成年女子	飛板飛込	1	8	三上 紗也可 (日本体育大学4年)
			高飛込	5	4	安田 舞 (日本体育大学3年)
	ローイング	成年女子	ダブルスカル	8	3	杉原 春菜 (立教大学1年) 三中心花 (明治大学1年)
シングルスカル			5	4	岡本 成世 (鳥取城北高校3年)	
少年男子		舵手つきクォドルブル	4	25	結城 星羽 (3年) 大畑 奏輔 (3年) 重吉 駿楽 (2年) (鳥取城北高校) 波多野 優輝 (米子西高校3年) 佐々木 静基 (米子工業高校3年) 中谷 将也 (鳥取東高校2年)	
					少年女子	ダブルスカル
ホッケー	少年女子		5	20	大西 こころ 山本 蒼衣 砂場 陽咲 宮本 彩加 佐々木 陽野 高木 陽向 (3年) 大西 依知佳 山本 惺珂 津村 恋菜 小早川 愛結 石田 那奈 山本 玲珂 (2年) 大石 怜佳 (1年) (八頭高校)	
ボクシング	少年男子	バンタム級	5	2.5	児島 大尊 (米子北高校3年)	
		ミドル級	2	7	川端 響喜 (米子北高校3年)	
ビーチバレーボール	少年女子		5	10.5	藤田 玲亜 中野 咲 (米子西高校3年)	
レスリング	成年男子	グレコ・ロマンススタイル77kg級	3	5.5	前田 裕也 (鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課)	
	少年男子	フリースタイル92kg級	5	2.5	芝 光琉 (鳥取中央育英高校3年)	
セーリング	成年男子	I L C A 7級	2	7	瀬川 和正 (鳥取県スポーツ協会)	
		470級	3	18	小泉 凱皇 (鳥取県スポーツ協会) 池田 隼太 (鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課)	
	成年女子	セーリングスピリッツ級	8	3	景山 優生 (日産プリンス鳥取販売) 池淵 砂紀 (鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課)	
	少年女子	I L C A 6級	8	1	浅田 千晴 (加茂中学校3年)	
ウエイトリフティング	少年男子	73kg級スナッチ	8	1	田中 紘示 (鳥取湖陵高校2年)	
自転車	成年男子	1kmタイムトライアル	6	3	池田 倫之 (順天堂大学3年)	
		ポイントレース	8	1	林原 聖真 (明治大学2年)	
		スクラッチ	5	4	布廣 優樹 (朝日大学2年)	
	少年男子	個人ロードレース	1	8	吉田 奏太 (倉吉西高校1年)	

相撲	成年男子	団体	1	24	西郷 智博 (鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課) 中島 望 (日本大学) アルタンゲレル・ソソルファー (あすなる) 松井 奏風人 (鳥取県相撲連盟) 成田 力道 (日本大学1年)	
		個人	4	—	アルタンゲレル・ソソルファー (あすなる)	
			5	—	松井 奏風人 (鳥取県相撲連盟)	
馬術	成年男子	トップスコア	4	5	山本 一 (ポニースマイル)	
	成年女子	トップスコア	3	6	山林 真由美 (ミネベアミツミ)	
	少年	トップスコア	5	4	渡辺 莉彩 (鳥取城北高校2年)	
		ダービー	5	4	吉田 桃 (米子北斗高校1年)	
バドミントン	少年男子		5	7.5	新木 統 新木 颯 (米子北高校3年) 高橋 永 (鳥取敬愛高校3年)	
スポーツクライミング	成年男子	ボルダリング	6	9	高田 知堯 河上 紘輝 (鳥取県スポーツ協会)	
	少年男子	リード	7	6	山根 終馬 (米子西高校2年) 藤田 楓 (鳥取城北高校1年)	
カヌー	成年男子	スラローム K-1	15G	7	2	杉村 靖彦 (昭洋工業)
	成年女子	ワイルドウォーター K-1	1500m	2	7	福本 かな子 (米子白鳳高校)
			スプリント	3	6	
合計				255.5		

【入賞者数】 16競技 42種目 73名 (昨年は17競技45種目55名279.5点)

※人数は実人数 ※種目数には相撲の個人種目を含む

特別全国障害者スポーツ大会 入賞者一覧
特別国民体育大会—入賞者一覧

会 期 《本大会》 14競技（鹿児島県）

令和5年 10月28日(土)～ 10月30日(月)

競技名	種別	種目	順位	個人・団体名（所属）
陸上競技	身体・1部	立幅跳	2	山本 壮馬（鳥取県立鳥取盲学校）
	身体・1部	100m	1	山本 壮馬（鳥取県立鳥取盲学校）
	身体・1部	800m	4	松原 凌雅（鳥取県立鳥取盲学校）
	身体・1部	100m	7	松原 凌雅（鳥取県立鳥取盲学校）
	知的・少年	50m	1	田村 海斗
	知的・少年	立幅跳	1	田村 海斗
	知的・少年	200m	3	丸 幸慶（鳥取県立琴の浦高等特別支援学校）
	知的・少年	100m	1	丸 幸慶（鳥取県立琴の浦高等特別支援学校）
	知的・少年	50m	4	多久和 英嗣（鳥取県立琴の浦高等特別支援学校）
	知的・少年	立幅跳	3	多久和 英嗣（鳥取県立琴の浦高等特別支援学校）
	知的・青年	50m	2	田中 香織
	知的・青年	ジャベリックスロー	3	田中 香織
	知的・青年	走高跳	1	植田 帆乃夏（琴の浦クラブ）
	知的・青年	立幅跳	3	植田 帆乃夏（琴の浦クラブ）
	知的	4×100mリレー	3	田中香織・多久和英嗣・田村海斗・丸幸慶
水泳	身体・1部	25m自由形	3	中村 仁士（鳥取県障がい者水泳協会）
	身体・1部	50m自由形	3	中村 仁士（鳥取県障がい者水泳協会）
	知的・少年	25m背泳ぎ	1	谷口 嶺
	知的・少年	50m自由形	5	谷口 嶺
アーチェリー	身体	コンパウンド30 ダブルラウンド	1	中野 靖宏（鳥取県身体障害者アーチェリー協会）
卓球・サウンドテーブルテニス	身体・1部	一般卓球	3	濱津 志織
	知的・少年	一般卓球	1	柏 悠紀（鳥取県立琴の浦高等特別支援学校）
	精神・少年	一般卓球	3	山本 愛斗
	身体・2部	サウンドテーブルテニス	2	中原 浩二（鳥取県サウンドテーブルテニスクラブ）
フライングディスク	身体	アキュラシー5	6	森住 和彦
	身体	ディスタンス	1	森住 和彦
	知的	アキュラシー7	3	近藤 旬一（鳥取県障がい者フライングディスク協会）
	知的	ディスタンス	3	近藤 旬一（鳥取県障がい者フライングディスク協会）
ボウリング	知的・少年	ボウリング	1	市川 翔大
ボッチャ	身体・1部2部	ボッチャ	2	安達和幸・山根直樹

第2回競技力向上対策本部会議の開催結果について

令和5年11月30日
スポーツ課

8月に立ち上げた標記会議について、この度、第2回目の会議を開催し、対策の方向性や目標設定のあり方について議論しました。

記

- 1 日時 10月20日(金) 午後1時30分～2時30分
- 2 場所 議会棟3階特別会議室
- 3 出席者 県 …鳥取県 亀井副知事、鳥取県教育委員会 長谷川教育次長
(15名) 市町村…鳥取県市長会 高橋 義幸事務局長、鳥取県町村会 吉田 英人会長(八頭町長)
教 育…鳥取県都市教育長会 石賀 大生事務局長(倉吉市教育委員会事務局長)、
鳥取県町村教育長会 西田 寛司会長(三朝町教育長)
スポーツ・体育…鳥取県スポーツ協会 林 昭男会長、(一社)鳥取県障がい者スポーツ協会
後藤 裕明会長、鳥取県高等学校体育連盟 富田 学理事長(八頭高等学校
教諭)、鳥取県中学校体育連盟 伊藤 賢二会長(鳥取市立千代南中学校
長)、鳥取県小学校長会 岸田 靖弘幹事(鳥取市立賀露小学校長)、
鳥取県特別支援学校長会 牧田 礼次郎会長(琴の浦特別支援学校校長)
経 済…鳥取県商工会議所連合会 上村 尚弘総務課長、鳥取県商工会連合会 米田
裕子専務理事、鳥取県中小企業団体中央会 谷口 譲二会長

4 主な意見

○競技力向上対策の方向性について

- ・ジュニアアスリートの継続・拡充はぜひお願いしたい。
メンタルトレーニング、食育などの充実が必要。
- ・合同部活動が進み、R6年度から拠点校方式を取れるようになったが、それが競技力に繋がるかどうかという点と難しい。
- ・中学校中心の部活動の地域移行を進めているが、ネックは人材の確保。人材バンクを作る必要があるが、競技力を上げるには人材バンクと地域ごとの特色に合わせたマッチングが重要になる。
- ・地域移行で拠点校を設ける場合、家庭の送迎に負担がかからないような移動対策が必要である。
- ・指導者は遅くとも国スポの6年ぐらい前から地域・子供の特性を知っていないと、10年後までに成果は出せない。
- ・拠点となる寮を作って、そこから各学校に通うような形はどうか。
- ・わかとり国体の時は地域の支えで成り立っていた。状況は違うとは思いますが、地域の共感を得なければならぬ。まずは地域の機運の底上げを大事にしてほしい。



○目標設定の検討と今後の取組の進め方

- ・高倍率競技も大事だが、陸上・カヌー・ローイングなど高得点競技にも着目すべき。
- ・各競技団体で温度差があるため、どうすれば点が取れるかは各競技団体にヒアリングすべき。
- ・ジュニアの時期から強化選手であることを本人に意識させることが大事。
- ・早期に強化選手、強化校などを決めて、それから指導者を確保するのが良い。
- ・早期に競技会場となる市町村を決め、地域と一体となって競技を盛り上げていくべき。

⇒副知事コメント

- ・本日頂いた具体的ご意見の落とし込みについて、今後整理していく。
- ・今後、各競技団体から意見を伺い、次回は皆様に素案をお示しし、議論していきたい。

鳥取県スポーツ顕彰の授与及び激励会について

令和5年11月30日
ス ポ ー ツ 課

10月24日（火）に鳥取県スポーツ顕彰授与式を開催し、第19回アジア競技大会において3m飛板飛込で銅メダルを獲得した三上紗也可選手に「スポーツ顕彰」を、飛込種目で日本代表ヘッドコーチを務めた安田千万樹監督には「スポーツ功労章」を、それぞれ授与しました。

併せて、出場が内定しているパリオリンピックでの活躍を祈念し激励会を開催するとともに、横断幕を掲出しました。

1 日時 令和5年10月24日（火）午前11時40分から正午まで

2 場所 鳥取県庁本庁舎 1階 玄関ロビー

3 受賞者

選手氏名	賞	成績・功績
みかみ きやか 三上 紗也可	スポーツ顕彰	第19回アジア競技大会3m飛板飛込で銅メダル獲得
やすだ ちまき 安田 千万樹 [ヘッドコーチ]	スポーツ功労章	第19回アジア競技大会飛込で日本代表チームを銀メダル1個、銅メダル2個獲得に導いた功績

4 第19回アジア競技大会概要

主 催：アジア・オリンピック評議会

期 間：2023年9月23日（土）～10月8日（日）

開催地：杭州市（中国）

予 選：10月4日（水）4位で予選通過

決 勝：10月4日（水）3位（9人中） 銅メダル

⇒三上選手はアジア競技大会では初のメダル獲得

《決勝の上位選手》

1位	陈 艺文（中国）	382.00
2位	昌 雅妮（中国）	350.25
3位	三上 紗也可（日本）	304.65
4位	金 守志（韓国）	288.85
5位	榎本 遼香（日本）	270.35



三上選手「来年はパリ五輪のメダルを持って、この場に戻って来ます」、安田コーチ「鳥取県代表という気持ちで、パリ五輪に向かいます」と、受章を機に決意を新たにしていた。

杭州 2022 アジアパラ競技大会における本県関係選手の結果について

令和5年11月30日
スポーツ課

10月に中国・杭州市で開催された「杭州 2022 アジアパラ競技大会」での成績について報告します。

1 杭州 2022 アジアパラ競技大会について

大会名：杭州 2022 アジアパラ競技大会

大会期間：10月22日（日）～10月28日（土）

開催地：中国・杭州市

競技：22 競技（アーチェリー、陸上競技、バドミントン、ボッチャなど）

選手団：選手 259 名、競技スタッフ等 171 名 合計 430 名

2 本県関係選手

競技（種目等）	氏名	出身地	所属先
陸上競技 （男子やり投げ）	たかはし しゅんや 高橋 峻也	境港市	トヨタ自動車
陸上競技 （走り幅跳び）	かわぐち りお 川口 梨央	鳥取市	NPO かがやきプロジェクト
ローイング	もり たくや 森 卓也	神戸市	医療法人 養和会
車いすバスケットボール	たつおか 立岡 ほたる	倉吉市	シンプレクス株式会社

3 各選手の大会成績

	競技（種目等）	成績
たかはし しゅんや 高橋 峻也	陸上競技	男子やり投 ⇒ 6位入賞
かわぐち りお 川口 梨央	陸上競技	女子走り幅跳 ⇒ 銀メダル
もり たくや 森 卓也	ローイング	男子シングルスカル（2000m）⇒ 銅メダル
たつおか 立岡 ほたる	車いすバスケットボール	女子車いすバスケットボール ⇒ 銀メダル



【川口梨央（走り幅跳）銀メダル】



【森 卓也（ローイング）銅メダル】



【立岡ほたる（バスケ）銀メダル】



【高橋峻也（やり投）6位入賞】

ねんりんピックはばたけ鳥取2024に向けた準備状況について

令和5年11月30日

ねんりんピック・関西ワールドマスターズゲームズ推進課

令和6年10月に開催される「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」（以下「大会」という。）に向けて、全庁を挙げて大会の準備、盛り上げ、運営を円滑に行うための実施本部の設立や、去る10月に愛媛県で開催された「ねんりんピック笑顔のえひめ2023」（以下「愛媛大会」という。）における広報、大会旗の引継ぎなど、大会に向けた準備状況について報告します。

1 ねんりんピックはばたけ鳥取2024実施本部の設立について

県を挙げて大会準備、盛り上げ、運営を円滑に行うため、全庁体制による大会実施本部を設立した。

(1) 設立日 令和5年10月24日（火）

(2) 組織体制 知事を本部長、副知事及び統轄監を副本部長、各部長及び各総合事務所長等を実施本部として全庁体制とし、業務ごとに各班体制で構成する。

【本部長】知事

【副本部長】副知事・統轄監

【統括部長】地域社会振興部長

【統括副部長】スポーツ振興局長

【参与】各部長(地域社会振興部長を除く)、各総合事務所長等

【班】班長（関係課長等）

総務・広報班、おもてなし班、イベント交流班、市町村連絡調整班、式典班、宿泊・輸送交通班、医療衛生班（7班体制）

※今後、班の下部組織に「チーム」及び「係」を配置する。

(3) 取組内容

ア 大会広報の積極展開及び大会の機運醸成に向け、各部や総合事務所等において、大会PR等を積極的に実施する。

- ・各部局や関係団体が実施するイベント、会議等でのPR（大会ロゴ掲示や広報物配布等）
- ・大会期間中に合わせてイベント等を開催し、ねんりんピックとコラボ化を展開（賑わいづくりや集客の相乗効果）

イ 各部局関係部署と所管事業について積極的な連携を図る。

- ・県内外に向けた観光を交えた大会の魅力発信の展開
- ・選手団のニーズを踏まえた魅力ある観光ツアーなど県内観光周遊の誘導
- ・本県の食の魅力を満喫できる食パラダイス関連イベント等の積極展開 など



2 大会の機運醸成等に向けた市町村との意見交換について

全県をあげた「ようこそようこそ鳥取運動」の更なる強化に向けて、各市町村長や関係団体との意見交換を行った。

(1) 訪問日程 11月20日(月)の米子市を皮切りに全市町村で実施

日程	訪問先	県訪問者
11/20(月)	米子市	統轄監
11/21(火)	日吉津村	地域社会振興部長
11/22(水)	岩美町、若桜町、智頭町、八頭町	地域社会振興部長
11/24(金)	鳥取市、倉吉市、大山町	地域社会振興部長
11/28(火)	境港市、南部町、伯耆町	地域社会振興部長
11/29(水)	日南町、日野町、江府町	地域社会振興部長
11/30(木)	三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町	統轄監

(2) 意見交換の主な内容

- ・官民連携での選手団、来県者へのおもてなしについて
- ・大会を好機とした地域活性化に結び付く県内外への文化観光等魅力発信の展開について

3 ねんりんピックはばたけ鳥取2024に向けた大会旗の引継ぎについて

- (1) 令和5年10月28日(土)から4日間に渡って開催された「ねんりんピック愛顔(えがお)のえひめ2023」が閉幕し、総合閉会式において平井知事が、中村愛媛県知事から大会旗を引き継いだ。

【両県知事共同記者会見】(総合閉会式終了後)

(平井知事発言)(抜粋)

- ねんりんピックは長寿社会を皆で祝おうというイベント。笑顔を分かち合う全国の交流の最大の機会。人生の喜びの重要な機会として継承し、バトンをつないで行きたい。
- 愛媛大会の成功点を継承しながら、鳥取でやれることをみんなで話しあい、実行に向けていきたい。
- 本県の豊かな食や景勝地、観光地など見所のある中を巡り歩くツアーの工夫をしたり、美味しいものを食べ歩いて味わっていただけるような催しも併せながら、来場者の満足を導いていきたい。



- (2) 鳥取県ブースでのPR

総合開会式・閉会式会場の催物会場に後催県として設置した鳥取県PRブースでは、大会会期中多くの選手団、一般来場者が訪れ、用意した鳥取大会のリーフレット、かみじろうグッズ、観光パンフレット5,000セットが全てなくなるなど、関心の高さが窺えた。



4 機運醸成に向けた大会旗の活用

大会の機運醸成に向けて、地域のショッピングセンターや公民館、イベント会場など住民が集まる場で、大会旗の披露及び地元開催種目やねんりんピック出場経験者の体験談披露、開催種目の体験など、大会をPRするすべての市町村を巡るリレーイベントを実施する予定。

5 ラッピング車両の協賛提供

大会への広告協賛品として、県内自動車販売会社からラッピング車両を貸与いただくこととなり、引渡し式を行う予定。県内各地で行う大会準備やPR活動などできるだけ稼働をさせ、積極的に広報に活用する。

提供者：山陰スバル株式会社

貸与車両：レヴォーグ

引渡し式：11/30(木) 14:00～県庁第2庁舎玄関前にて実施予定

県内文化財の新規国登録について

令和5年11月30日
文化財課

令和5年11月24日（金）に開催された国の文化審議会（会長 佐藤信 東京大学名誉教授）は、県内3カ所9件の建造物を国登録有形文化財として登録するよう文部科学大臣に答申しました。

記

1 建造物の新規国登録について

(1) 文化財の名称 3カ所9件

- | | | | |
|---------|-------------|------------------|-----|
| ① 宇倍神社 | 本殿、拝殿、透塀、神門 | （鳥取市国府町宮ノ下 651） | 4件 |
| ② 加知彌神社 | 本殿、拝殿、随神門 | （鳥取市鹿野町寺内 155-1） | 3件 |
| ③ 杉谷神社 | 本殿、幣殿及び拝殿 | （鳥取市気高町日光 1035） | 2件 |
| | | | 計9件 |

(2) 文化財の特徴

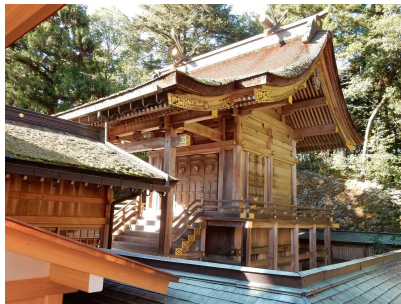
文化財名	特徴等	建設年代等
① 宇倍神社 本殿、拝殿、透塀、神門	稲葉山麓に位置する因幡国一宮。本殿は床を高くとり、全体に装飾を抑えつつも扉に菊紋を付す。拝殿は全体的に装飾を抑えた端正な意匠をみせ、本殿を取り囲む透塀は本殿と一体となって境内の歴史的景観を形成する。拝殿前に位置する檜皮葺（ひわだぶき）の神門は、かつて紙幣の図柄ともなった門で優美な曲線の屋根が宇倍神社の景観を特徴づけている。	本殿：明治31年建築/同41年改修 拝殿：明治17年建築/平成11年改修 透塀：大正11年建築/昭和前期・同48年改修 神門：大正4年/昭和前期改修
② 加知彌神社 本殿、拝殿、随神門	鹿野城跡の北方に位置し、本殿は正面に奥行のある唐破風（からはふ）状の向拝（こうはい）をもつ独特な形式である。拝殿は全体的に簡素であるが正面に大きな曲線を描く唐破風の向拝を備え、本殿と呼応する拝殿である。随神門は境内入口に建ち、通路の両側に随神を安置する。	本殿：文政13年（1830）建築/昭和38年改修 拝殿：大正10年建築/昭和中期改修 随神門：文政13年（1830）建築/昭和中期改修
③ 杉谷神社 本殿、幣殿及び拝殿、	干拓地の旧日光池近くに位置する。本殿は、周囲に欄干のついた縁（えん）をまわすが、全体に装飾を少なくした簡素な造りとし、幣殿及び拝殿は、本殿と一体的に境内景観を形成している。 なお、建設当時の棟梁の家系（現（株）懸樋工務店）に当時の設計資料が伝わり、近代の神社建築時の様相を伝えている。	本殿：大正4年建築/昭和25年改修 幣殿及び拝殿：大正5年建築

【位置図】



【写真】

①宇倍神社



本殿



本殿及び透塀



神門及び拝殿

②加知彌神社



本殿



拝殿



随神門

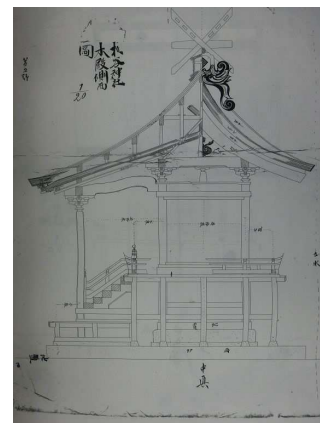
③杉谷神社



本殿



幣殿及び拝殿



設計書

(3) 今回、国で答申が行われる建造物の概要

登録数	今回答申分		累計
		290件	
時代別登録件数	江戸以前	58件	2,518件
	明治	80件	4,417件
	大正	59件	2,848件
	昭和	93件	4,252件

(4) 鳥取県の状況

①鳥取県の国登録文化財、国・県指定文化財総数（今回登録後・未告示含む）

国登録文化財	国指定・選定文化財	県指定・選定文化財
(261)	(18)	(25) ※
267	126	327

()内は建造物の数
 ※「彫刻及び建造物」
 1件含む

県内文化財の国史跡指定について

令和5年11月30日
とっとり弥生の王国推進課

令和5年10月20日（金）に開催された国の文化審議会（会長 佐藤 信^{さとう まこと} 東京大学名誉教授）において国史跡指定について文部科学大臣に答申され、下記のとおり、尾高城跡（米子市）が史跡指定されることが決まりましたので報告します。

記

1 指定の概要

- (1) 名称 尾高城跡（おだかじょうあと）
- (2) 面積 41,499.80㎡
- (3) 所在地 米子市尾高1298番1外 63筆等
- (4) 所有者 米子市有地、民有地（6名）
- (5) 指定に至る経緯

米子市指定史跡である尾高城跡（昭和52年4月1日指定）は、昭和から令和にかけて発掘調査等が継続して実施され、このうち令和3年度から本丸・二の丸において行われた調査（第11次調査）において、遺構が良好に残っていたこと、中世から近世にわたる城郭の変遷が明らかになったことにより、一部を除きほぼ全域が国史跡に指定されることとなった。

- (6) 特徴等

- 鎌倉時代（13世紀）に始まり、戦国時代（16世紀）を経て江戸時代初期まで約400年間の長期にわたって営まれた。
- 空堀・土塁で形成される中世の土づくりの城から、一部に石垣を用いた近世城郭へ構造の変遷が明らかとなっている。
- 文献資料から幸松^{こうまつ}、杉原^{きつかわ}、吉川、中村氏といった城主の変遷など、戦国時代の尼子・毛利の戦乱から近世大名成立に至る歴史がわかり、さらに発掘調査成果からそれら変遷に伴う城郭構造の変化が判明するなど、文献と考古学から西伯耆の中・近世史について明らかにすることができる重要な城郭である。
- 日野川の水運・山陰道・日野往来・大山道の交通結節点を押さえる拠点に築かれ、中世西伯耆の戦国諸城の中心的位置を占めている。
- 立地を生かして段丘上に築かれた城で、段丘先端の本丸等とそれらの後背に位置する方形郭群で構成されている。全体構造が確認でき、保存状態がよい城郭として貴重である。

2 指定件数

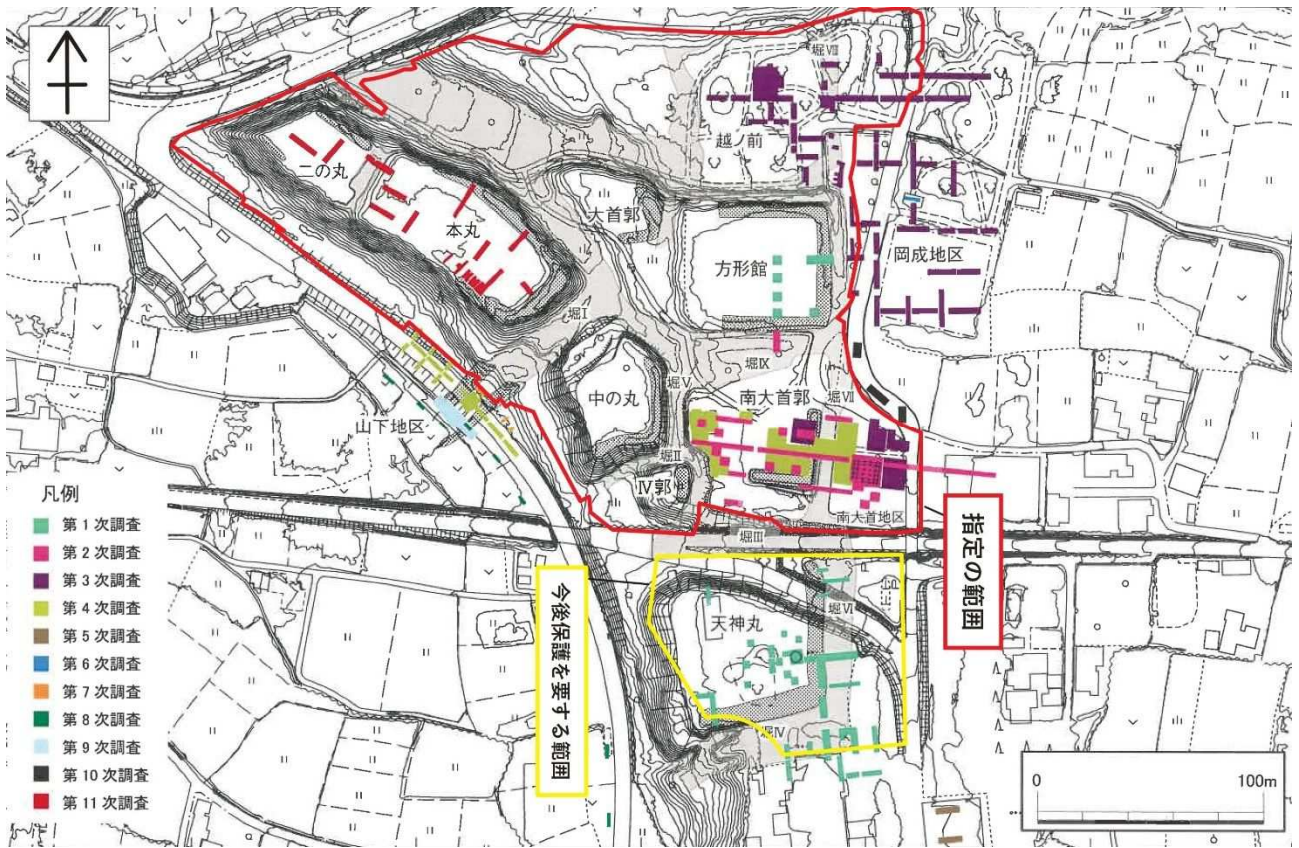
(1) 今回の答申件数等

種 別	既指定	今回答申件数		合計 (現在指定件数と答申件数との合計)
		新規指定	統合による減	
史 跡 (うち特別史跡)	1,888 (63)	9 (0)	2 (0)	1,895 (63)
史跡名勝天然記念物 合計 (うち特別史跡・特別名勝・特別天然記念物)	3,353 (174)	13 (0)	2 (0)	3,364 (174)

(2) 県内の指定件数（答申後）

国指定等文化財	県指定等文化財
126 (36)	327 (20)

() 内は特別史跡及び史跡の件数



尾高城指定範囲と過去の発掘調査区



尾高城跡 南首郭の現況

とっとり弥生の王国フェスタ(むきばんだフェスタ・青谷かみじちフェスタ)の開催について

令和5年11月30日
とっとり弥生の王国推進課

令和5年度「とっとり弥生の王国フェスタ」をむきばんだ史跡公園及び青谷上寺地遺跡周辺において、それぞれ実施しました。

むきばんだ史跡公園では、県内外の考古系施設による「特別古代体験」や、地元高校生の郷土芸能やダンスをはじめとする「ステージイベント」のほか、昨年度に続いて様々な店が集う「よなご・マルシェ」を実施しました。

青谷上寺地遺跡では、令和6年3月24日(日)にオープンする青谷かみじち史跡公園のにぎわい交流広場をメイン会場に、弥生のものでづくり体験ブース、「なりきり弥生人コンテスト」などのステージイベントのほか、地元飲食店による弥生時代にちなんだメニューを提供する「弥生バザール」を開催しました。

■ むきばんだフェスタ

(1) 日 時 令和5年10月15日(土) 午前10時から午後4時まで

(2) 会 場 むきばんだ史跡公園

(3) 参加者 約2,500人

(4) 内 容

ア 特別古代体験

○県内外12団体による貝輪づくり等の「ものづくり」や「古代競技」、「はくつ体験」などを実施。

イ よなご・マルシェ

○カレー・ジェラート・洋菓子などの販売や「ものづくり」ワークショップに37店舗が参加。

ウ ステージイベント

○高校生による「郷土芸能」・「ダンス」、「ねんりんピックはばたけ鳥取2024キャラバン隊」のほか、アーティストによるスペシャルライブを実施。



■ 青谷かみじちフェスタ

(1) 日 時 令和5年11月23日(木・祝) 午前10時から午後3時まで

(2) 会 場 青谷かみじち史跡公園[にぎわい交流ひろば]ほか

(3) 主 催 鳥取県・鳥取市・青谷地域にぎわい創出実行委員会

(4) 参加者 約2,500人

(5) 内 容

ア 大型バルーン体験

○空から青谷上寺地遺跡やオープンする公園を見ていただく大型バルーンへの搭乗体験。

イ 弥生の体験ひろば・まなびのひろば

○県内外の団体による勾玉づくりやガラス玉ブレスレットづくりなどの弥生体験。

○因州和紙の紙すき体験やちぎり絵づくり等のほか青谷高校の研究発表など。

ウ ステージイベント

○「なりきり!弥生人コンテスト」や地元団体の合唱や中高生による吹奏楽演奏などのほか、青谷上寺地遺跡に関する〇×クイズなどの参加型イベントも実施。

エ 弥生バザール

○「ホタテ発掘カレー」など地元の飲食店が弥生人にちなんだグルメを販売したほか、山陰各地のこだわりの店が出店。



鳥取市佐治町における台風7号災害からの復興への取組みについて

令和5年11月30日
東部地域振興事務所

令和5年8月の台風7号により甚大な被害に遭った鳥取市佐治町において、災害からの復興への取組みの一環として、「第38回佐治ふるさと祭り」において災害復旧状況や復旧に向けたボランティア等の活動を紹介するパネル展を開催しましたので、報告します。

1 「台風7号災害からの復興への取組」パネル展

- (1) 開催日時 令和5年11月12日(日) 9時30分～15時
- (2) 開催場所 鳥取市立佐治小学校体育館(第38回佐治ふるさと祭り会場)
- (3) 催事概要 佐治ふるさと祭りは、佐治地域の産物や伝統文化を広くアピールする等の鳥取市佐治町総合支所が主催するイベントで4年ぶりの開催となった。当日は佐治町の住民を中心に800人の来場者で賑わった。
- (4) 出展目的・内容 今回の台風被害と復旧状況を住民へ情報提供し地域づくりに繋げていくため、台風7号被害の復旧状況や災害ボランティア等の活動をPRしたパネル25枚を展示。その他、災害後路線バスが運休中に住民の交通手段として生活を支えた共助交通の「さじ未来号」のペーパークラフト作りのワークショップやねんりんピックのPR、来場者へのアンケートも併せて実施した。

【今回の企画の感想について(来場者アンケート等から)】

○回答者の約9割が「おおいに参考になった」「参考となった」と回答しており、今回の展示は住民への災害に対する意識啓発となった。

【回答者の声】

- ・道路や橋が早く復旧してよかった。
- ・よそ事と思っていたのですが、災害の状況が手に取るようにわかった。ありがとう。
- ・高齢者が多くいざという時になかなか動けないので、地域住民との連携が大事だと思いました。

【佐治ふるさと祭り小谷実行委員長のコメント】

- ・8月に台風の被害は受けたが、この祭りを通じてみんなで頑張ろうという気持ちになるきっかけになってほしい。

2 今後の取組

今後地元では、住民主体で「災害に強い地域づくり」を進めていくこととしており、県では鳥取市と連携して、地元へ寄り添いながら、地元が取組む活動を支援していく。

【住民主体で取り組む活動(予定)】

- (1) 各関係団体による 仮称「災害に強い佐治町創り事業実行委員会」の立上げ(12月)
- (2) 災害に強い地域を考える集いの開催(2月)
- (3) アンケート調査(1月～2月)
- (4) 先進事例調査(2月)

(参考)「第38回佐治ふるさと祭り」の様子



県東部地域振興事務所展示



作品展示会場



ワークショップ(さじ未来号)

韓国江原特別自治道「第29回原州国際ツデーウォーク」への参加について

令和5年11月30日
中部総合事務所県民福祉局

「第29回原州国際ツデーウォーク（主催：大韓ウォーキング連盟）」に参加し、米子・ソウル便をはじめとした鳥取県への観光誘客PRを行いました。

1 目的等

- アジア・ウォーキング・フェスタで本年6月2日に開催されたウォーキング・フォーラムのパネリストとして来県いただいた大韓ウォーキング連盟理事長をはじめとする関係者への答礼
- 会場内に鳥取県PRブースを設置し、江原特別自治道と友好交流提携を結んでいる鳥取県のPR、10月25日に再就航した米子ソウル便（エアソウル）と旅行商品のPR、鳥取県中部地域の観光等のPR（特に、中部ウォーキングリゾート推進の観点からウォーキングを中心）を実施
- 中部ウォーキングリゾート推進に向け、大韓ウォーキング連盟の本部所在地で開催される原州国際ツデーウォークの現地視察

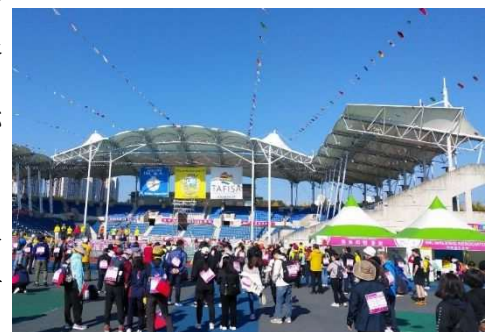
2 訪韓者 中部総合事務所県民福祉局 小谷局長

※NPO法人未来訪問団（岸田理事長ほか2名）に同行する形で原州国際ツデーウォーク参加

3 訪韓日程 令和5年10月27日（金）～10月30日（月）（27日及び30日は移動日）

4 活動結果

- 開催日 10月28日（土）～29日（日）
- 場 所 原州国際ツデーウォーク会場（原州ダンシング公演場）
- 展示用にパネル、配布用に韓国語パンフレット等を200～300部準備したほか、NPO法人未来の「2024 SUN-IN 未来ウォーク」等チラシを設置し、概ね3/4を配布した。
- 三朝町パンフレットが人気で、高校生から20代では北栄町パンフレットを手にする方が多かった。
- 鳥取県を訪問されたことがある方も一部おられ、大阪方面から足を延ばされた方が多かった。以前の米子ソウル便やDBSクルーズフェリーを利用して鳥取に来られた方も少数だがおられた。米子ソウル便の復活を御存知の方はおられなかったが、逆に直行便があって行き易いという良いPRになった。
- 鳥取県と江原特別自治道の交流を御存知の方が少なく（江原道内の方が一部御存知だった程度）、写真パネル（両県道知事の協定）は関心を引いた。
- 来年の未来ウォークのチラシ、今年の100kmウォークのチラシに関心を寄せる方も多かった。ウォーキングイベントのチラシ等は、ウォーカーに訪日を考えてもらう上で訴求力があつた。



※参考1（原州国際ツデーウォークの概要）

大韓ウォーキング連盟が主催し韓国江原特別自治道で開催される韓国最大級のウォーキングイベントで、本年の大会には日本、オランダ、ドイツ等約200名の国外ウォーカーも加わり、延べ約2万名以上が参加した。

※参考2（アジア・ウォーキング・フェスタ（AWF）の概要）

令和5年6月2日（金）～6月5日（月）にSUN-IN未来ウォーク（NPO法人未来主催）に合わせて県中部地区でアジアトレイルズネットワーク総会（ATN主催）、ウォーキング・フォーラム（NPO法人未来主催）等が開催された。県では、海外参加者含め129名（うち台湾52名、韓国42名）を迎えて、歓迎レセプションを主催した。

鳥取県日野郡連携会議の開催結果について

令和5年11月30日

日野振興センター日野振興局

「鳥取県日野郡ふるさと広域連携協約（H27.6.27 締結）」に基づき、日野郡3町長と鳥取県知事による鳥取県日野郡連携会議を開催し、「住民サービス向上に繋げる人材育成連携」及び「自転車を活用した交流人口拡大に向けた方策」について協議し、会議の成果として共同宣言を行いましたので、その概要を報告します。

- 1 日 時 令和5年10月26日（木）午前10時から11時まで
- 2 場 所 日野町役場大会議室
- 3 出席者 平井知事、中村日南町長、埴田日野町長（会長）、白石江府町長（ほか関係者）

4 会議の概要（協議事項）

（1）日野郡うちまち化プロジェクト 《趣旨説明：江府町 山根主任社会福祉士》

- ・3町の若手職員が進めるプロジェクトにより、地域の若者が地域活性化の方策を自ら考え地方自治への関心を高めることで、投票率の向上や将来の参画に繋げる取組を進めます。
- ・日野郡の若者が、地元のためにできること・やりたいことを企画し実現に向けて取組を進める中で、課題や障壁に直面し解決方策を考えることを通じて、行政の役割や政治の意義に気づき、ひいては政治参画に繋げることを目指します。

《意見》

- ・当初、若者向けの地方自治に関する研修を考えていたが、若手職員に任せたと全く異なるプロジェクトとなり、地域に元気な若者がいることが感じられるイベントが行われた。大人だけでなく高校生の参画にも繋げてほしい。（江府町長）
- ・地域課題として担い手の問題があり、議員の定員割れや投票率低下に繋がっている。近い将来に有権者となる高校生を巻き込むのは面白い。（知事）

（2）日野郡内保育所・こども園（保育士・保育教諭）の交流 《趣旨説明：日野町 遠藤教育課長》

- ・3町の関係職員が交流し、互いに他施設の保育環境や活動状況を知り視野を広げることで、実践力を高め幼児教育の充実に繋がります。
- ・日野郡の子ども達は、保育所・小中学校等の間、単一クラスで同じ仲間と過ごすことになり、絆が深まる一方で人間関係が固定化するため、新たな人間関係を築く力、友人関係との関わりでより良く生きる力については、意図的に指導や場づくりを行う必要があると考えます。

《意見》

- ・お互いの良いところを共有し、変えるべきところは変え、研修の場にも取り入れるなど広く効果が生まれることも検証しながら横展開に繋げていただきたい。（日南町長）
- ・日野郡3町の人材に限られる中、今後、お互いにリソースを分かち合うことも考えられる。様々なバリエーションのサービス提供ができたり、子どもの育ちに繋がれば面白い。（知事）

（3）日野郡サイクリングルート設定による自転車活用の推進 《趣旨説明：事務局》

- ・県が進めている「県内どこでもサイクリングが楽しめる環境づくり」に呼応し、日野郡3町を南北に繋ぐルート設定により西部圏域サイクリングルートの広域化を図り、日野郡への誘客促進、交流人口の拡大を図ります。
- ・ルート設定後に併せ、3町共同による自転車活用推進計画の策定を目指します。

《意見》

- ・日野川沿いのルートは、トラックが走らないときは快適に走れるとサイクリストから好評。（江府町長）
- ・日野郡の資源、豊かな自然、様々な文化の魅力づくりに、サイクリングや自転車をひとつのきっかけとしていくことを進めたい。（日野町長）
- ・バイパス整備によって旧道の交通量が減りサイクリストが走りやすくなることも考えられる。長距離を走るハードな大会や周辺エリアと繋ぐことなど、様々なアイデアにより日野郡をPRし、新たな観光事業や若者の元気に繋がることを期待する。（知事）

5 「小さいからこそできる」人材育成と地域資源の活用により持続可能な日野郡を創る共同宣言の要旨

「小さい」まちのメリットを生かし、日野郡の将来を担っていく若者の人材育成と、地域資源を活用した誘客促進により、住民が誇りをもって「住み続けたい」と感じられる持続可能な日野郡を創るため、次に掲げる取組を連携して進めていく。（別添参照）

「小さいからこそできる」人材育成と地域資源の活用により
持続可能な日野郡を創る共同宣言

急速に進む人口減少や経済の悪化など、全国的に新たな社会問題に直面する中、日野郡3町と鳥取県は、地域住民が住み慣れた地域で安心・安全で豊かに暮らしていけるよう、顕在化した地域課題の解決に連携して取り組んでいる。

しかしながら、少子高齢化が一段と進み、今後20年で日野郡の人口が約半数近くまで減少することが予測されるなど依然として深刻な状況となっており、地域の活力を維持するため、若者の定住・定着化と交流人口拡大を図ることが喫緊の課題となっている。

一方で、日野郡3町は、「小さい」からこそ、新たに生じた課題に迅速かつ機動的に対応できるという強みを持っている。「小さい」まちのメリットを生かし、日野郡の将来を担っていく若者の人材育成と、豊かな自然・文化等の地域資源を活用した誘客促進により、住民が誇りをもって「住み続けたい」と感じられる持続可能な日野郡を創るため、次に掲げる取組を連携して進めていくことに合意し、ここに宣言する。

- 1 3町の若手職員で進める「日野郡ウチまち化プロジェクト」により、地域の若者が日野郡のことを自分のまちとして捉え、地域の活性化方策を自ら考えることで、地方自治への関心を高めるとともに将来の参画に繋げる取組
- 2 日野郡の将来にあるべき教育の姿を見据え、連携・協働して課題に的確に対応していくことを目的に、町の枠を超えた保育所・認定こども園の人的交流により、現場での実践力を向上させる取組
- 3 ナショナルサイクルルート指定に向けて鳥取県が目指している「県内どこでもサイクリングが楽しめる環境づくり」に呼応し、3町を繋ぎ日野郡の魅力を体感できるルートの設定により本県西部圏域サイクリングルートを広域化することで、サイクリスト誘客を促進し交流人口の更なる拡大を図るとともに自転車の活用を推進する取組

令和5年10月26日

<署名> 日南町長、日野町長、江府町長、鳥取県知事

